

第 23 回

【地域別】

市民と市長のタウンミーティング

報 告 書

○期 日 平 成 2 1 年 2 月 1 3 日

○会 場 武蔵野中央公園北ホール

武 蔵 野 市

まえがき

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」「双方向」で、地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。

この会には、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が企画・運営方法を協議し、協働して実施する「地域別タウンミーティング」と、テーマを設定して、そのテーマの関連団体にご協力をいただきながら実施する「テーマ別タウンミーティング」がございます。

平成18年から平成19年までの2年間で、すべてのコミュニティ協議会との共催により、「地域別タウンミーティング」を計16回開催してまいりました。このたび、中央公園北ホールで、「地域別タウンミーティング」の2巡目の第3回目となる、第23回「市民と市長のタウンミーティング」を開催しましたので、その結果を報告いたします。

今後とも、「地域別タウンミーティング」と「テーマ別タウンミーティング」を織り交ぜながら開催していくことにより、さらに多くの意見交換を行ってまいります。

概 要

1. 日 時 平成21年2月13日(金)
午後6時30分～9時
2. 場 所 武蔵野中央公園北ホール
3. 主 催 武蔵野市・八幡町コミュニティ協議会
4. 参加者数 43人
5. 主催側出席者 市長 邑上 守正
八幡町コミュニティ協議会 委員長 山口 善憲
企画政策室長 南條 和行
都市整備部長 檜山 啓示
6. 司 会 八幡町コミュニティ協議会 副委員長 勝沼 修二
企画政策室 市民協働推進課長 渡部 敏夫
7. 内 容 第1部「だれにでもやさしい安全・安心のまちづくり」
をテーマにした意見交換
第2部「八幡町コミセンの新築移転」をテーマにした意
見交換

目 次

1. 発言の要旨.....	1
(1)開会のあいさつ	1
(2)第1部「だれにでもやさしい安全・安心なまちづくり」をテーマにした 意見交換(要旨)	3
1. 第四中学校への通学路について.....	3
2. 千川小学校の窓ガラスについて.....	3
3. 私道の市道への編入について.....	4
4. ムーバス路線について.....	4
5. 都立武蔵野中央公園におけるドッグラン設置の可能性について.....	6
6. 中央通りさくら並木公園について.....	7
7. 中央公園周辺の安全対策について.....	8
8. 防災無線のチャイムについて.....	8
9. 災害時のサイレンについて.....	9
10. 自転車走行ゾーンの設置について.....	10
11. 中央公園の駐車場待ちの車両について.....	11
12. 公衆トイレについて.....	11
(3)第2部「八幡町コミセンの新築移転」をテーマにした意見交換(要旨)	13
1. コミュニティセンターの建替え計画について.....	13
2. コミュニティの単位について.....	14
3. コミュニティセンターの移転場所について.....	15
4. 現在のコミュニティセンターについて.....	15
5. 建替えのスケジュールについて.....	16
6. コミュニティセンターのあり方について.....	17
7. コミュニティセンターのハード面について.....	18
(4)閉会のあいさつ.....	20
2. 当日いただいたご意見と市の対応方針.....	21
1. 第四中学校への通学路について.....	21
2. 千川小学校の窓ガラスについて.....	21
3. 私道の市道への編入について.....	22

4. ムーバス路線について.....	22
5. 都立武蔵野中央公園におけるドッグラン設置の可能性について.....	23
6. 中央通りさくら並木公園について.....	23
7. 中央公園周辺の安全対策について.....	24
8. 防災無線のチャイムについて.....	25
9. 災害時のサイレンについて.....	25
10. 自転車走行ゾーンの設置について.....	26
11. 中央公園の駐車場待ちの車両について.....	27
12. 公衆トイレについて.....	27
13. 自転車専用道路について.....	28
3. アンケートでいただいた感想.....	29
4. 前回のタウンミーティング（H18.8.6・武蔵野中央公園北ホール）でいただいた 主なご意見とその後の進捗状況.....	30
①健康・福祉.....	30
②子ども・教育.....	31
③緑・環境・市民生活.....	32
④都市基盤.....	38
⑤行・財政.....	40

— 付属資料 —

第23回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし

1. 発言の要旨

(1) 開会のあいさつ

【市長】

皆さん、こんばんは。夜分にもかかわらず、たくさんの方々に集まっていただき、ありがとうございます。

今回で23回目になりますが、地域の皆さんといろいろな話し合いをしながら、市政に反映していきたいという思いで積み重ねてきました。

コミュニティ協議会との共催という形でずっとやっていたんですが、一巡することができて、その後は、昨年からは、テーマ別のタウンミーティングも重ねて行っています。

昨年は、商店街をテーマに3回、防災をテーマに1回、行いました。地域別とテーマ別をこれからも積み重ねていきたいと思います。

前回は平成18年8月6日ということで、今日と全く反対の暑い日でした。日中暑い日で、皆さんも大変だったかと思いますが、ちょうどその日、甲子園で高校野球の大会をやっていました。早稲田実業の試合をやっておりまして、皆さんはそちらも気になっていたかと思いますが、その年には早実が優勝しました。

今日は、2年半ぶりです。前回いろいろなご意見をいただきました。私からも皆さんに申し上げたこともあります。2年半たって、どういうふうに変わってきたのかというのを後ほど話したいと思っています。

それと同時に、チラシでも示していますが、本日は、「だれにでもやさしい安全・安心なまちづくり」「八幡町コミセンの新築移転について」という大きなテーマが掲げられていますので、それについては、後ほど皆さんからさまざまな意見をいただきたいと思っています。

私は市民の意見を聞く、市民の皆さんと一緒に意見交換をするということが原点だと思っていますので、これからもこのタウンミーティングに限らず、さまざまな場面で声を寄せていただきたいと思っています。今日はこれから2時間半余りの時間ですが、最後までいろいろな意見を言っていただきたいと思っています。

この会は、コミュニティ協議会と市との共催でして、今回も八幡町コミュニティ協議会の皆さんにご協力いただいています。それでは、どうぞ最後までよろしくお願いします。

【八幡町コミュニティ協議会 山口善憲 委員長】

皆さん、こんばんは。気候が安定しない中で、花粉症の方もそろそろ厳しい時期かなと思います。私は今日、午前中は大丈夫だったんですが、午後から、こんな声になってしまって、私の好きなカラオケも無理かなという感じになって、これから一番厳しい時期ですが、市長から言われたように、前回のタウンミーティングをやってからちょうど2年半です。



第23回タウンミーティング
H21.2.13開催・中央公園北ホール
開会のあいさつ

その間に、皆さんいろいろお気づきだと思いますが、前回、出された意見で、まちの様子が少しずつ変わってきました。それと同時に、新しい問題も起きてきています。安全・安心ということで、いくら子どもがいろいろなことをやっても、まだ足りないこともたくさんありますし、子どもが活動すればするほど、子どものホームグラウンドになるコミセンが狭いことも大きな問題になってきています。



その中で、子ども八幡町の町民と、市の意見の一致が見られたり、見られなかったり、また、それが果たして第三者から見てどうなのかということで、今回は時間を十分とりました。テーマを2つに絞りまして、各テーマについて、それぞれ約50分お話をさせていただくことですので、屈託のない意見が出ることを望みまして、あいさつにかえさせていただきま。本日はどうぞよろしく申し上げます。

※この後、市長より、30～41 ページ「前回のタウンミーティングでいただいた主なご意見とその後の進捗状況」から、主なものを抜粋して紹介しました。

(2) 第1部 「だれにでもやさしい安全・安心なまちづくり」をテーマにした意見交換(要旨)

1. 第四中学校への通学路について

【ご意見】

千川小学校に子供が通っていて、ほとんどの卒業生は、第四中学校へ行くが、富士重工業の社宅から四中まで通うにあたって、NTT開発研究センタ北側の道路を歩いていく。その道路の北側には歩道がついているが、南側は、歩道はなく、ラインが引いてあるだけである。しかし、四中へ行く場合は南側を歩いていくので、危ない。



歩道をつけていただきたいという声が多く上がっている。

【市長】

この北ホールから四中に行くときに、道路の右側には、歩道がありません。NTTの植栽があって、きれいな景観ではありますが、歩道は片側しかありません。市としても、その辺の道路の作り方については、できれば歩道を設置したいと考えています。しかし、NTTの用地を提供していただかなければいけないという課題もありまして、なかなかそれが実現していません。緑化の協力はいただいて、きれいな空間になっているのですが、通学路としての道ですので、なるべく歩道確保という形で、協力要請をしていきたいと思っています。反対側に渡ると歩道があるのですが、それはどのように言われていますか。



【ご意見】

押しボタン式の信号機をつけていただければ、簡単に渡れると思う。

【市長】

信号機はなかったですね。この道路の課題については、担当に伝えまして、安全対策を研究させます。(対応方針は、21ページをご覧ください)

2. 千川小学校の窓ガラスについて

【ご意見】

千川小学校では、この前、ガラスが割れたことがあって、ガラスに飛散防止シートが貼られていなかったと聞いた。体育館棟と校舎棟をつなぐ渡り廊下があって、大きな地震などがあつたときに、そのガラスが割れて落ちてきたらどうなるか心配になった。至急、飛散防止

シートを貼ってほしい。

【市長】

通常は割れそうなガラスについてはフィルムを貼ります。特に、大きなガラスを使う場合には、フィルム付きのガラスを使うはずですが、これについては、大変心配ですので、担当課に確認をとらせて、必要に応じて、至急対策をとらせてます。もしそういう心配事があれば、タウンミーティングを待たずとも、すぐ市役所に連絡いただければと思います。(確認結果は、21ページをご覧ください)

3. 私道の市道への編入について

【ご意見】

八幡町4丁目に住んでいる。市道と私道の関係に関するお願いがある。八幡町4丁目の千川小学校から真正面に入る道があるが、その場所が現在、私道になっている。そのもう1つ南側の通りは、ごく一部、30~40cmぐらいの幅が私道で、それ以外の部分は市道になっている。現在、私道になっているところを、市道に編入する方法がないかと思って、去年の春、市役所の道路課に相談したことがあった。道路課からは、現状が公簿の道幅と同じであることや、抵当権設定がないことなど、いろいろ条件があると言われた。しかし、このままでは、未来永劫、公道にはしてもらえず、この私道の関係者は、子孫の代まで、登記簿の関係で立会いしなければならない。ぜひ今のうちに直してもらえんほうがありがたい。固定資産税はきちんとお支払いしているので、その点もご考慮のうえで対応いただきたい。



【市長】

権利関係がきちんとないと、市にいただくわけにいかないケースがあります。他の地域でも、幾つかの課題はありますが、それぞれの道路境界を確定していただいているというのが大前提です。その方針に沿って、道路課でお話をしているかと思いますが、市としては、必要な道路幅員を確保して、安全に通行できるという状態にしたいと考えています。

まずはその個々の権利者の皆さんにご了解いただかないとできないケースもありますが、それぞれのケースに応じて、境界確定については、市の分はあるのかわかりませんが、調整しながら、1つずつ対応していただければと思っています。私からも道路課に伝えますが、今日、都市整備部長がおりますので、別途またお話しください。(対応方針は、22ページをご覧ください)

4. ムーバス路線について

【ご意見】

八幡町4丁目に住んでいる。八幡町はバスの便がよいということで、市では、ムーバスの新規路線はつくらないという話が聞いたが、この地域から、高齢者が市役所に行くのは非常に不便である。バスで行っても、京王ストアの前で降りて、団地の中を歩くとか、いろいろ

なやり方をしている。場合によっては、三鷹駅まで乗って、駅からまたバスで市役所に戻ってきたという話まで聞かすが、NTT研究開発センタの裏側の道にムーバスを通してほしい。緑町3丁目の方も便が悪くて困るという声もあるので、年寄りが困らないよう、いろいろ考えてほしい。

【市長】

タウンミーティングのたびに必ずムーバスの要望をいただいています。必ず市役所に直行するルートをつくってほしいという要望はあるんですが、ムーバスは、路線バスがない空白地域を埋めていくこと、地域と駅をつないでいくという考え方で、ルートを設定しています。現在、一定の路線ができましたので、市としてはムーバスの新規路線は考えていません。ただ、最初の路線を開設してから13年経っており、新しい施設もでき、また、武蔵境地域では鉄道が立体化され、南北交通がスムーズになりますから、ルートの変更もあり得るのではないかといいこともありまして、ムーバスの路線について、どういう考え方で今後いか議論しているところです。

既にバス路線があるところについては、現在のムーバスの機能からすると、対応するのは困難かと考えています。八幡町4丁目からバスで緑町で降りて、市役所に来られるのが一番近い行き方です。これ以上ムーバスをつくれというのは厳しい状況にあります。このNTT研究開発センタの裏のあたりまで、本数は少ないですが、バス乗りかえ場はありますよね。

【ご意見】

途中までだ。現実を見てほしい。

【市長】

今はどうやって来られているんですか。

【ご意見】

皆さん、三鷹駅まで行って、駅で乗りかえて、市役所まで行っている。

【市長】

どれぐらいの皆さんが市役所に来られているのでしょうか。

【ご意見】

市役所の制度は、大体申請方式だ。何するにも行かなければ、申請しないとできないというやり方だから、行かざるを得ない。

【市長】

バス会社に運行をお願いするので、ある程度の乗客数がないと営業になりません。現在、最終的に新設路線をつくった三鷹・武蔵境間、三鷹・吉祥寺間も、乗客数はあまり伸びておらず、営業的にはよくありません。全路線で見ると、トントンの近い数字ですが、今後、路線を増やすとしても、ある程度のお客さんが乗っていただけるような場所でない、バス会社のほうが受けてくれない状況です。しかしながら、そういう要望があるということはきち



んと記録にとどめておきます。(対応方針は、22ページをご覧ください)

5. 都立武蔵野中央公園におけるドッグラン設置の可能性について

【ご意見】

八幡町3丁目に住んでいる。都立武蔵野中央公園（以下、「中央公園」といいます）のことでお願いがある。中央公園は、お天気であれば、紙飛行機を飛ばす人、親子でボール遊びをする人、お弁当を食べている人、犬とお散歩をする人がいる。この光景だけを見ていると、平和で、何ていいんだろうと思う。



私も犬を飼っているが、犬はところかまわず糞尿をする。それを見ていると、何か嫌だと思ったり、夕方になって、管理人がいなくなると、犬を放してしまう方がいる。「犬にはリードをつけてください」というアナウンスが流れるのだが、犬が原っぱに出てきて、歩いている人に飛びかかったりしている。市内のどこかの公園で、ドッグランができたと聞いた。中央公園というのは、市民にとって貴重なオア

シスだと思う。ぜひともドッグランの設置をお願いしたい。

【市長】

前回は中央公園にドッグラン設置をという要望があつて、その後、中央公園は都立なものですから、都のほうにお話をしているんですが、都立公園で、広いところではいろいろな取り組みをしています。小金井公園にドッグランがあるということで、中央公園でもできないかとお伝えしているんですが、中央公園は、都立公園の中では、面積的には大変小さいそうです。そのため、東京都の判断としては、面積がやや小さいということで、ドッグランを設置するには前向きではありませんでした。

私どもも、犬が自由に走れるような空間を考えていきたいと思って、一昨年、境の亜細亜大学の近くの武蔵川公園という、利用状況がよくなかった公園があり、ドッグランとキャッチボールができるスペースとして整備をしました。大変人気で、「武蔵野ワンワンパトロール隊(※)」の方に管理をお願いしているんですが、お互いにルールを守って、よい運営がなされています。今のところ、試行期間を含めると1年半ぐらい経っていますが、今後そんな利用も参考にしながら、他に市内で利用できるような場所がないか探していきます。



(※) 武蔵野ワンワンパトロール隊…平成17年5月に発足した市民団体。愛犬の散歩を兼ねて、地域の防犯パトロールやごみ拾いをボランティアで行っている。

武蔵野市には、市が持っている公園が約160あります。小さい公園が多く、どちらかという紋切り型の公園のしつらえですので、利用も限られるということもあるので、全体の見直しをして、皆さんの要望に沿うような形の利用の方法を議論して、新しい利用形態の工夫をしていきたいと思います。(対応方針は、23ページをご覧ください)

6. 中央通りさくら並木公園について

【ご意見】

北町4丁目に住んでいる。中央通りに、今度新しい公園をつくらうという計画がある。特色のある公園をつくりたいという市の考えで、私もワークショップに参加して、知恵を絞ったが、最初に、この公園はトイレはつけないという話があった。

トイレが周辺にも全くなくて、一番近いところで市役所まで行かないとないが、そうすると、高齢者や障がい者が集まっても、休憩や食事もできず、公園をつくっても無駄という感じがする。最低限度、公園にトイレがほしいが、そんな贅沢も言えないとなると、広い通りに、小さくてもよいかからトイレをつくって、そこを安全の拠点にして、何か事故があったときにブザーが鳴るとかいうことにすれば、個々の公園にトイレがなくてもよいと思う。

これはまちづくりの問題になるかもしれないが、23区でも、公園にはトイレが全部整備されている。特にバリアフリー法ができてから、他市も、公園の新設や改修のときには、トイレの設置を検討すると聞いているが、ぜひその辺のところをお考えいただきたい。

【市長】

公園にトイレを設置するかということは、大きな課題です。例えば、子ども連れでトイレがないと困るという方は結構いらっしゃって、トイレを設置してほしいという声もあるんですが、周辺住民の皆さんは、トイレを設置することについては、大変心配をされています。安全の拠点になればよいのですが、一般的に、トイレは、死角ができるということもあって、防犯上、危ない場所として考えられています。むやみにどこでもトイレをつくるわけにはいかないと思います。

本市の判断基準として、5,000㎡を超える公園には、多くの皆さんが来られるから、トイレを設置するという事なんですが、中央通りさくら並木公園については、それほどの面積がないので、今のところ設置する予定はありません。ただ、トイレは、市役所南側の武蔵野市民公園にありますので、それを利用いただければと思います。



さくら並木中央公園は、当面、トイレはない状態でスタートする予定ですが、しばらく使い勝手を見て、皆さんの要望を聞いたうえで、いろいろ改善していければと思います。(対応方針は、23ページをご覧ください)

7. 中央公園周辺の安全対策について

【ご意見】

八幡町2丁目はほとんど公園ということで、人口は、富士重工業の社宅と、それ以外は十数軒の民家である。安心・安全という視点から、防災の拠点ということを含めて、従来、千川上水寄りのNTT研究開発センタのほうの道路まで通路を拡張できないかという話が、かなり歴史が深い要望としてある。



今度、武蔵野北高校が大型改修されることになり、グラウンドもなくなるということで、北高のフェンスを壊して、公園側へ通路をつくって、改修工事中は中央公園をグラウンドに使ったらどうかという検討がされている。

また、夜は大変寂しい状況にもなっている。トイレが2つあり、場合によっては死角になるので、管理をしっかりしてほしい。

遊歩道の途中の拡張部分も、夜は極めて寂しい。女性の1人歩きは、しにくい雰囲気もあるということも含めて、公園周辺における安心・安全のための対応策をお伺いしたい。

【市長】

これは大変難しい課題です。中央公園内の北側は、夜は真っ暗です。以前、公園側にお聞きしたところ、暗いということで逆に人を寄せつけないと考えているとのこと。明るい人と人が来るとということで、来られたときの安全確保が難しい状況にもあるので、現状、照明は明るくしないという方針だそうです。

都立武蔵野北高校は、これから、骨組みを残して中身を総取り替えするので、当面、生徒たちはプレハブ校舎で授業をするそうです。校庭がなくなるということもあって、都立公園・都立高校ですので、お互いの連携でやられたらよいと思います。ただ、そういう課題があれば、安全面ということで、地域の者としては、考えていかなければいけませんので、東京都のほうに確認していきたいと思います。(確認結果は、24ページをご覧ください)

8. 防災無線のチャイムについて

【ご意見】

八幡町1丁目に住んでいる。子供たちが家に帰る時間は、大体夕方5時だとは思いますが、そのときに武蔵野市では、チャイムが鳴る。西東京市では、チャイムだけではなく、「5時なので、子供たちは帰りましょう」といったアナウンスがあり、子供の帰りを促しているという

た。武蔵野市も、5時のチャイムの音を大きくして、なおかつ、声の放送もやっていただけると、子供たちはもっとすぐ帰ってくるのでは思う。公園によって、時計があるところ、ないところがあるが、私の子供は、時計がなかったから遅くなったという理由をつけて帰ってくることもある。

【市長】

今、防災無線を利用して、点検を兼ねてやっている放送です。少し話がそれますが、防災無線が聞きづらいということもあって、その試聴範囲を調査して、聞きづらいところには増設するという取り組みをしています。もう1つは、ケーブルテレビで、災害時緊急放送サービスをこの2月中旬からスタートしますが、ケーブルテレビに加入されている世帯で、専用の受信機を設置いただくと、防災無線の情報が音声で入ってきます。月350円で、大雨のときでも、大雨警報ですという放送が家の中に聞こえるようになります。ひょっとしたら、チャイムも入ってくるのかわかりませんが、5時の放送も、どの程度、工夫できるか担当のほうに聞いてみます。本来、子供に帰りなさいというためのチャイムというよりも、時を告げるチャイムかとは思いますが、その辺の目的と、変更の可能性も含めて、もう1回確認をしてみます。

【ご意見】

現在、チャイムが流れているのが5時です。中央公園は4時半になると、駐車場が終わりますというアナウンスが流れる。

【市長】

お子様とはチャイムが鳴ったら帰ってくるというお約束をしていただけたらと思います。

【ご意見】

約束はしているが、そのチャイムも聞こえたり聞こえなかったりのときもあるらしい。

【市長】

その方法を確認してみます。その辺の変える可能性ができるのかどうかも含めて、聞いてみます。(確認結果は、25ページをご覧ください)



9. 災害時のサイレンについて

【ご意見】

火事などの災害のときに、サイレンが鳴る。それがいつも何なのかという不安を感じるので、こういうものを鳴らしたら近くが火事であるということを市報に掲載してほしい。5時のチャイムは、多分、子どもたちは帰りなさいということだと思うが、近くで、消防車か何かが行くときに、サイレンが鳴る。それが何かという不安のときがある。ほかの市民も多分わからないで不安に感じていると思う。

【市長】

武蔵野市では、火事ときには特にサイレンは鳴らしていないと思います。西東京市、三鷹市、小金井市でどのようなサイレンを鳴らしているかというのを確認してみたいと思いま

す。(確認方針は、25ページをご覧ください)

【ご意見】

サイレンの音は西東京と武蔵野と音が違う。西東京の音は昔の空襲のときみたいな、ポーという音である。

10. 自転車走行ゾーンの設置について

【ご意見】

道路交通法が改正され、自転車は車道の左側を走るようになったが、ただ白い線が引いてあるだけなので、心ないドライバーは自転車のほうに寄せてくる。私は、自転車に乗っているときに、とっさにとまったことがあり、その際、ポケットに入れていた携帯電話がドブの中に落ちた。それだけで済んだからよいが、転んで、轢かれでもしたら大変だ。市内で、一部はなっているが、自転車道路という形で、緑か青などの色をつけて、自転車マークを貼ったラインを引いてもらえるとよい。



八幡町に関しては、武蔵野北高校の前の道路は右左関係なく、歩道は北高生徒の自転車の通り道になっている。歩行者たちが怖がって通るような形なので、車道上で自転車ゾーンを決めておけば、「自転車ゾーンを走れ」と注意できるんですが、今はどこを走ったらよいんだという状況である。この間も注意したら、「そんなところを走ったらひかれちゃうよ」なんて言われた。

【市長】

自転車問題は、武蔵野市の大きな課題です。自転車の専用レーンができれば、それに越したことはないのですが、道路幅員が狭い中、厳しい状況にあります。今、来年度に向けて整備する予定になっているのが、武蔵境駅の南口の「かえで通り」です。東京都の道路ですが、今年度は三鷹市分を整備しています。来年度、武蔵境駅までつなげようということで、車道の両側に自転車のレーンを柵で囲って設けます。幅員があれば、そういう道を増やしていきます。

伏見通りは、今、浄水場まででとまっていますが、数年後には調布までつながっていきます。伏見通りで、一部、自転車ゾーンが試行されていますが、その状況を見て、伏見通りも広い歩道幅員があるので、自転車のゾーンと歩行者のゾーンを分けていこうという考えもあるそうです。また、調布では、歩道の中で色分けをして、自転車ゾーンのサインをつけるなどの工夫がされています。

市内では、市民文化会館の西側の「文化会館通り」は、一方通行の道ですが、車道の両側に色を塗って、なるべく自転車はそこを走ってくださいという形でやっています。歩道は歩行者、自転車は車道の端っこを走ってくださいということにしています。その取り組みが、

マスコミにも取り上げられて、去年も何回かNHKのニュースで放送されました。私どもはそういう状況を見ながら、狭い道でも工夫をして、自転車の通る場所をわかりやすくできないかと思っています。

自転車は、ずっと道を走るものですから、ある区間だけあっても、その先は行きにくいということではいけませんので、ネットワークでつなげていきたいと思います。伏見通りも大きな自転車の道になっていくし、井の頭通りの先は、サイクリングロードで狭山のほうにつながっていきませんが、井の頭通りで何とか工夫ができないかと思っています。そういうやや幅員が広いところを、自転車の骨格的な幹線道路として結んで、他の狭い道は色分けをし、ネットワーク化して、自転車を排除じゃなくて、自転車が安全に乗れる空間を何とか生み出していけたらと思います。(対応方針は、26ページをご覧ください)



11. 中央公園の駐車場待ちの車両について

【ご意見】

八幡町4丁目の交差点から、特別養護老人ホーム「親の家」側に、休みの日に中央公園に車を駐車するため、朝早くから延々車の列が繋がっている。日によっては、床屋さんを越してまだ先のほうまで止まっていることもある。車があんなに止められていたら、自転車は通れない。市役所に言うのか、警察に言ってよいのかわからないが、とりあえずお耳に入れておきたい。



【市長】

道路上の話は、基本的には警察なのですが、中央公園の駐車場は9時からなので、それまで待っているわけですね。車に人が乗っていると、なかなか取り締まりが難しいですが、市役所北側の野球場の駐車場もずっと待っていますが、あそこはバス通りだからなおさらよろしくないと思っているのですが、そういう課題はあります。基本的には、あまり長時間の駐車は、道路交通法上いけないことなので、警察にはそういう課題が出たということは申し伝えておきます。(対応方針は、27ページをご覧ください)

12. 公衆トイレについて

【ご意見】

吉祥寺北町4丁目に住んでいる。市内には、公共トイレが本当に無い。駅にしかなく、公園にも真ん中辺に小さいのがあがるくらいで、外から見てもわからないので安全面で問題があ

る。他区市の人も来たときに利用できて、武蔵野市民も市外へ行ったときにお互いに利用できるような形をこれから目指していったほうがよい。自分の市だけじゃなくて、周辺のことでも考えてまちづくりをしたほうがよい。

【市長】



実は、駅周辺には公衆トイレがあるところとないところがあるんですが、武蔵野市では、トイレに関する基準や方針もなかったんですね。きちんとした公衆トイレのあり方については、市として考え方を持たないといけないと思いますので、少し時間をいただいて整理しようかと思います。多くの皆さんに、武蔵野市の屋外で楽しんでもらうときには、一定のそういう設備も必要だと思います。ある一定規模以上の公園には設置しているのですが、その分布状況など、なかなか皆さんにお伝えできていないものがあるので、もう1回整理をしながら、どの程度これから必要なのかということについて、研究してみたいと思います。(対応方針は、27ページをご覧ください)

(3) 第2部 「八幡町コミセンの新築移転について」をテーマにした意見交換(要旨)

1. コミュニティセンターの建替え計画について

【ご意見】

八幡町1丁目に住んでいる。コミセンの問題は、八幡町にとって古くて新しい問題であり、今から17年ほど前から話し合われてきたことだ。住民の要求が熟し、署名を添えた市議会への陳情が、市議会全会派一致で可決されてから3年半になる。

そういう中で、八幡町コミュニティ協議会が中心になり、広く各団体に呼びかけながら、昨年9月に、「八幡町コミセン移転・新築推進委員会」を発足させて、検討を続けている。

市長の努力により、八幡町コミセンの移転新築が必要だということについては、広く認識されていると思う。現在の到達点として、市民と行政が一緒になり、これからのモデルになるコミセンをつくっていこうということを市長との間で確認している。

どこにどんなコミセンをとということで、「八幡町コミセン移転・新築推進委員会」サイドで審議をしてきた。今、だんだん議論が熟し、場所については、中央公園の中や、都営住宅の集会場がある公園など、いろいろな意見があるが、東京都の所管、あるいは、既設の趣旨に基づく法令上の制約などで実際は難しい。ただ、千川小学校のプール跡地ということが陳情の背景にあった。

現在、市有地の洗い出しをしているので、場所はまだ特定できないというのが、これまでの市長の見解だと理解をしている。今までの成果を含めて、あらためて、市長の見解を明らかにしていただきたい。

【市長】

現在の八幡町コミセンについては、家のような大きさですから、なかなか使い勝手が悪く、皆さんで集会するにも、スペースが足りないということもあるなど、課題は重々承知してしまして、私としても何とかほかのコミセンに近い形にできないかという思いがありました。

ただ、これは勝手に決める話ではなくて、市全体のコミュニティ構想があり、それをもとにコミセンがつくられてきたわけですから、全体の議論の中で、新築等の議論をするべきだと思います。昨年策定した第四期長期計画・調整計画でも、そういう趣旨で位置づけました。それを踏まえて、昨年設置した第6期コミュニティ市民委員会において、八幡町コミセンに



についての議論もいただこうと考えています。



おかげさまで、コミュニティ市民委員会の委員長・副委員長・委員の皆さんも大変関心を持っていただき、いろいろなご意見をいただいています。今年度中に八幡町コミセンについての一定の方向性を報告いただきたいと思います。今度はそれがお墨付きになりますから、それをもとにコミュニティ協議会の皆さんと市が連携して、きちんとした会を設けて、その中でコミセンのこれからの場所や

内容も含めて、具体的な議論を進めていきたいと思えます。

場所についてはなかなか難しい問題がありまして、新たな土地を買うほど市には余裕はありません。どなたかいただける方がいらっしゃれば、すぐいただきたいのですが、なかなか大きな土地がないということもあって、現在、市が持っている土地で使えるところはないかなど検討しています。若干、候補地はあるのですが、そこはまだ周辺の方の了解もいただけないので、今ここで発表するわけにはいきません。協議会の皆さんと議論をして、プログラムをきちんと決めて、計画・設計・建設と順次進んでいきたいと思えます。

2. コミュニティの単位について

【ご意見】

市長からは、モデルになるコミセンをということだったが、少し時代が変わってきた。八幡町コミセン1つが大きくなるのではなく、市の16コミセンを使い勝手のよい大型コミセンに編成を変えて、その中で八幡町が中心になって、大きな使いやすいコミセンをつくるのはどうか。今の小さなコミセンがただ移転して大きくなるのではなく、全市的に見れば、いろいろな考え方ができるのではないか。

極端な話をすると、今16あるものを4箇所にして、お子さんからお年寄りまで家族全部が楽しめる、下手すれば温水プールがあるくらいの規模のコミセンがこれからは必要ではないか。

今は利用世代によって使い分けていると思う。そうすると、だんだん核家族社会になり、コミセンにおいて同年代のコミュニケーションはとれるが、年代層を外したコミュニケーションがとれないのではないか。このような考え方に対しての市の見解はどうか。

【市長】

大胆なご意見をいただきました。今あるコミュニティセンターは、武蔵野市全体のコミュニティ形成を考えていく中で、コミュニティの固まりをずっと昔から議論して、その単位の中にコミュニティセンターが核として位置づけられています。基本的には、今の16コミュニティ協議会が地域のコミュニティづくりを進めていただいていると私も認識しているので、これからのコミセンも基本的には現行の単位が原則ではないかと思えます。

仮にコミュニティの考え方が変わってきて、全体で考えていこうというふうになったとしても、例えば、今ある2～3のコミュニティ協議会を合わせたような形に構想が練られてそ

ういう方向に向かうには、相当時間がかかると思います。それまで待つてよいのであれば、じっくりコミュニティのあり方全体について議論し直さなければいけません。私としては、今のコミュニティ構想をベースにして、八幡町コミュニティ協議会を中心とした施設という議論を深めていったほうがよいのではないかと思います。

もし第6期コミュニティ市民委員会の中で、そういう大きな議論があるとするれば、私としても受けなければいけません、今のところないと思います。ただ、コミュニティ構想は、もう30数年前のもので、これからのコミュニティを考えると、新たな取り組みも必要だと思っていますので、その議論も大いに参考にしたいと思っています。いずれにしろ、今あるコミュニティ協議会をベースにしたコミセンということをお考えいただいたほうがよいのではないかと思います。

3. コミュニティセンターの移転場所について

【ご意見】

市長のご意見を聞いて、コミュニティセンターは、地域に住む人のコミュニティの場ということが基本なので、すごく安心した。それから、「八幡町コミセン移転・新築推進委員会」で、候補地をいろいろと挙げてある。条件があつてだめなこともあるとわかつてはいるが、どうしてもだめなのか、それについても伺いたい。例えば、交番の裏の都営住宅の場所は、私たちにとっては、八幡町の真ん中で、非常に便利でよいのだが、これは絶対に無理なのか。

【市長】

都営住宅の中の集会所は、都営住宅の皆さんのものなので、これを広域の集会施設にするというのは、難しいと思います。

よそ様の土地というのは難しい課題があるし、市が持っている土地でも、例えば、公園についても、公園として用地を確保した経緯もありまして、その用途変換というのは極めて困難です。それで補助金もいただいたりしていますので、利用目的のない市有地というのが原則と考えておりますが、まだ特定はできません。



4. 現在のコミュニティセンターについて

【ご意見】

新しいコミセンができたときに、今のコミセンはどうなるのか。そのまま残して、市民のための何かに利用できるのか。

【市長】

まだ考えていませんが、武蔵野市の財政について、これから税収は増えず、しかも様々なリニューアル事業がある中で、市民サービスをどんどん増やしていくのは難しい状況になっています。少なくとも現状維持が精一杯ではないかと思います。



例えば、コミセンの運営についても、各コミュニティ協議会に補助金を出しているのですが、それもこれから広げていくことは難しい状況だと思います。新しいコミセンの運営費用については、今以上に膨らむのは大変厳しい状況にあります。そうすると、今ある施設をそのままにして、新たに増やすということは、なかなか厳しいのではないかとはいえますが、新しい場所が確定した後に、今あるコミセンをどうするか、もう一回整理していきたいと思っています。

5. 建替えのスケジュールについて

【ご意見】

予定としてはいつ頃できるのか、全くわからないのか。

【市長】

昨年策定した調整計画でも、いつまでにつくろうという決定はしていません。しかし、これはまずはコミュニティ市民委員会での議論があって、それで一定の方向が出れば、それをもとに、来年度早々から皆さんと具体的な話をしていこうと思っています。その具体的な話がうまくまとまって、かつ、新しい敷地候補地の周辺の皆様方にもご理解いただければ、その先は早いです。設計をして、そして工事に入ります。周辺の皆様に納得いただくまで時間がかかるかもしれませんが、それはわからないところですね。

【ご意見】

八幡町3丁目に住んでいる。この新しいコミセンの建設は、第一に場所を決めないと進まない。推進委員会でも候補は結構出ているが、財政上の問題もあり、市の持っている八幡町3丁目にある千川小プールの跡地について、あそこしかだめだということになって、ご近所の方の了解が得られれば、いつ頃、手がつけられるか。

【市長】

難しい質問ですね。あその場所に限定せずに、例えば、ある敷地があってということで想定するならば、今年度中に市民委員会での一定の方向性を出していただきます。来年度早々に協議会の皆さんと市で、建設に向けた委員会を立ち上げてから議論がスタートします。その委員会の中で、場所について幾つかの候補地の中からそこにしましょうということ合意いただきながら、かつ、地域の周辺の皆様に同時進行でご了解いただかなければいけないと思います。了解をいただくには、丁寧な対応が必要であり、1～2ヶ月でハンコを押しなさいというわけにはいかないのです、その辺に難しさがあります。

仮にその期間が半年とすれば、その半年以降に設計になりますね。設計はいろいろ手続もありますから、1年ぐらいはかかるといえますし、工事も1年以上はかかるでしょう。したがって、設計がスタートしてから開館まで2年ぐらいはかかるといえます。そんなに豪華なものをつくらなければ、すぐできるかもしれません。

【ご意見】

豪華なのをつくっていただきたい。せつかくこれからつくるのだから、それこそ市長がお

っしゃるモデルになるようなよいコミセンをつくっていただこうと思って、推進委員会ではみんな夢の話をしている。

6. コミュニティセンターのあり方について

【ご意見】

八幡町3丁目に住んでいる。縁があって地域のことに関わって感じたことだが、この千川地区というのは、地域の方たちに支えられている。青少協があり、地域社協があり、八幡町コミュニティ協議会があり、千川小のPTAなど、いろいろな団体があり、その個々の団体がそれぞれ一生懸命頑張って活動している。しかし、地域の固まりというか、1つになっていないという感じを受けた。それらが1つにまとまって、拠点としてコミュニティセンターというものを利用できて、お互いの情報交換もできて、この千川地区をこういうふうにしようというお話ができる場であるようなコミュニティセンターがあったらよいと思う。



それぞれの団体の方たちは一生懸命で、子どもたちも多くの方たちに支えられて、見守られているということを実感したので、それをもっとまとまった形で生かさせていけたらよい。

もう1点、この武蔵野市の子どもへの関わり方だが、私が市報などで、いろいろな取り組みを見ている限りでは、0歳児・未就学児・小学生に対しての安全確保、居場所の確保、遊び場の確保は大分進んできていると感じる。赤ちゃんとお母さんたち、小学生の放課後の居場所、遊び部屋ができたりしているが、そこから上の中学生、高校生が今どこにいるんだろうという感じがする。私も中学生の娘を持っている。部活をやって帰ってきて、その後、遊ぶ時間はほとんどないが、みんなで集まって何かしようというところが見当たらない。新しいコミセンが居場所になっていただけたらありがたい。

【市長】

まさにおっしゃられた、だれもが利用できるようなコミセンを私も願っております。同時に、武蔵野市の特徴として、様々な団体が地域で活動されていますが、それぞれの団体がよりどころとなる場所がないとよく言われます。

例えば、地域社協も、それぞれ大変頑張っているのですが、その拠点の場所がないという各地域社協の皆さんもいらっしゃいます。青少協はどちらかというと学校単位なので、学校の中にもっとそういう拠点が確保されてよいのかと思います。さまざまな団体を束ねていくのがコミュニティ協議会なのではないかとも思っています。

私は今、住まいは境南町ですが、以前、境南コミセンの運営委員もずっとやっていたりして、境南でもそういう課題がありました。なるべく委員も団体から出してもらおうということで、そういう取り組みを積極的にして、まさに団体の集合体がコミセンだという取り組みを試行した期間もあります。地域の活動団体を束ねていくのがコミュニティ協議会で、それがコミュニティづくりの1つという、そんなやり方もやっていただけたらと思っています。

中高生の居場所については、私も課題に思っていますが、もともと中高生専用の居場所は我々が子供のころから無かったわけで、例えば、「0123」など、他の年齢層を対象とした施設ができましたが、中高生の専用となるものができなかったということが、居場所がないと感じられると思うんです。

場所をつくるということだけではなくて、むしろ中高生の役割を地域でいろいろ出させていただくとよいと思います。中高生は、役割があって初めて行きやすくなります。コミセン側から、中高生の役割を大いに生み出してほしいんです。幾つかのコミセンで、イベントなどに中高生のスタッフを直接引っ張ってきていますが、それが広がっていきます。これからのコミセンをお考えになるときは、場所の問題もさることながら、地域のお父さんだったり、お母さんだったり、世代を越えた皆さんが役割を担っていただくような、コミセンにしていきたいと思います。



【ご意見】

私たちが今検討しているのは、ハードの面だけではなく、ソフトの面ということで、コミュニティづくりやコミュニティのネットワークづくり、それから市政と協働できるような、そういう核になるようなこと、民主的な運営をどうやって深めていくかを検討しているということだけ申し上げておきたい。

7. コミュニティセンターのハード面について

【ご意見】

八幡町3丁目に住んでいる。昭和55年に、八幡町コミセンができたと思うが、その頃から事務員をやっていて、今も協力員として携わっている。八幡町コミセンにはロビーがない。事務室は、いろいろな機器が入り、とても狭くなって、人と人が横にならなければすれ違えない。最初は調理室もなかった。このくらい気の毒なコミセンはないと感じている。

先日、関前コミセンに行ってきたが、あのくらいのコミセンができれば嬉しい。八幡町コミセンづくりでは、皆さんが1つにまとまって、使いやすい、すばらしいコミセンをつくっていただければよいと思う。

トイレについても、男性がいると女性が入っていけないし、女性が入っていると男性も入れず、気を使いながら使用している。コミセンができたいきさつは私も存じ上げているので、あまりいろいろなことを言えないが、今の時代に合ったコミセンでないことだけは事実だ。利用者も私が勤めていたころよりも少ないのではないかな。広くて使いやすいということが、一番大事なことだと思う。

【ご意見】

八幡町3丁目に住んでいる。コミセンのハードの部分について、ソーラーシステムや屋上緑化ができればよいと思う。コミセンの場所を知らない方が結構いて、八幡町の人に「コミセンってどこにあるの」と聞かれる。あれは1軒の民家程度のもので、コミセンを知らないのも当たり前だと思うときもある。八幡町コミセンはここにありというようなコミセンをつ

くっていただきたい。いつも市長がおっしゃるように、モデルになるようなコミセンというのを望んでいるので、ぜひ早めをお願いしたい。

【市長】

建物で目立つという意味ではないと思いますが、中身をよいものにしていただきたいと思います。建物も皆様からいろいろな意見をいただいての設計になろうかと思えます。今、吉祥寺南町コミセンでは、市に頼らず自主的にソーラーパネルを入れるので、できれば市にも補助してほしいという取り組みもあります。屋上ができるほどの大きさになるかどうかわかりませんが、屋上緑化などについても、ぜひ考えていただきたいし、これからつくる公共施設というのは、環境に配慮したものじゃないといけないと思いますので、その意味では、環境型のコミセンとして、モデルになるような形でできたらよいのではと思います。



(4) 閉会のあいさつ

【八幡町コミュニティ協議会 山口善憲 委員長】



今日はテーマが2つでしたが、なかなか中身の濃い討議がされたような気がします。市長が言われたように、これから市も非常に財政が厳しくなる中、八幡町としてよい方向に向いていきたいということで、いろいろ発想を変えてご意見をいただいたと思います。非常によい会ができたということで、皆さんに感謝しています。

夜遅くなりますので、特に女性の方は気をつけてお帰りください。こんなことを言うのは安全・安心ではないんですが、暗いところもありますので、十分気をつけてお帰りください。今日は本当にどうもありがとうございました。

【市長】

皆さん、どうもありがとうございました。明日は春一番が吹くようで、かなり強い風と聞いておりますので、お気をつけいただきたいと思います。

今日は大変短い時間でしたが、皆さんからいろいろなご意見をいただきました。前半は安全・安心ということで、通学路の話から始まりましたが、特に安全・安心に関することは、何かあったらすぐ市役所に言ってください。こういうところが危険だということは、すぐに言っていただき、すぐに必要な対応をしたいと思っています。



後半のコミセンに関するお話は、皆さんの大きな関心事であると思っていますが、順次丁寧に進めてきています。この続きとして、おそらく4月以降になろうかと思いますが、協議会の皆さんに呼びかけをして、きちんとした組織をつくって、そこで具体的な話を展開していきたいと思っています。

再三、皆さんからお話しいただいていますが、新しいコミセンをつくるのであれば、ぜひ他のコミセンのモデルとなるような形にしていきたいと考えていますので、今後とも意見交換をしながら、皆さんと一緒によいコミュニティづくりを進めていきたいと思っています。本日はありがとうございました。

2. 当日いただいたご意見と市の対応方針

	意見要旨	当日の市長発言要旨	市の対応方針・確認結果
1	<p>第四中学校への通学路について</p> <p>子どもが富士重工業の社宅から第四中学校まで通うにあたって、NTT研究開発センタ北側沿いの道路を歩いて行く。この道路の北側には歩道がついているが、南側（NTT側）はラインが引いてあるだけだ。この地域から四中へ行く場合、右側（NTT側）を歩くことになるが、危ないので、歩道をつけてほしい。また、北側の歩道に簡単に渡れるよう、押しボタン式の信号機をつけてほしい。</p>	<p>この中央公園北ホールから四中に行く道路について、NTT側には植栽があって、きれいな景観になっていますが、歩道は北側にしかありません。この道路については、できれば歩道を設置したいと考えています。しかし、NTT側の用地を提供いただかなければいけないこともあり、実現していません。緑化の協力はしていますが、通学路ですので、歩道確保の協力要請もしていきたいと思えます。また、北側の歩道に渡るために信号をつけてほしいということについては、課題として、担当課に伝えまして、安全上のどのような対策ができるのか研究させます。</p>	<p>NTT研究開発センタ北側の市道第41号線は、道路幅員約11mで、車道が8m、北側歩道が約3mとなっています。歩道は幅員2m以上を確保することが原則となっており、限られた道路幅員の中で南側に歩道を設置することは困難ですが、NTTや交通管理者である警視庁とも協議しながら、今後の対応について検討したいと考えています。</p> <p>なお、平成21年3月に、NTT開発研究センタ裏門の北西にある市の資材置場の一部（八幡町2丁目部分）を歩道化しました。この歩道ができたことにより、既設の信号機で、当該道路の北側に渡って、第四中学校まで歩道を通学することが可能となりました。信号機は、警視庁交通管制課が都内全域を一括し、優先順位をつけながら、危険な箇所に設置をしています。ご要望については、所轄である武蔵野警察署に申し伝えましたが、上記の状況を勘案すると、この付近に信号機を新設することは、都内全域における優先度は低いという見解が示されています。</p>
2	<p>千川小学校の窓ガラスについて</p> <p>千川小学校で、この前、ガラスが割れたことがあったが、ガラスに飛散防止のシートが貼られていなかったと聞いた。体育館棟と校舎棟をつないでいる渡り廊下のようなところがあるが、地震があったときなど、そのガラスが割れて落ちてきたらと心配になった。至急、飛散防止シートなどを貼ってほしい。</p>	<p>通常は割れそうなガラスには、フィルムを貼ります。特に、大きなガラスを使う場合には、破片が飛び散らないように、フィルム付きのガラスを使うはずですが、ご指摘いただいた件については、大変心配ですので、担当課に確認をとらせ、必要に応じて、至急対応します。もしそういう心配事があれば、タウンミーティングを待たずとも、すぐ市役所にご連絡ください。</p>	<p>市立小・中学校のガラスは、ガラスに飛散防止フィルムを貼って対応しているケースと、強化ガラスを採用しているケースとがあり、千川小学校は強化ガラスを採用しています。強化ガラスは、割れた場合、破片は細かい粒状のものとなり、鋭利な破片は生じにくくなっています。</p> <p>教育委員会では、学校が児童・生徒にとって安全に過ごせる場所であるよう、引き続き整備していきます。</p>

	意見要旨	当日の市長発言要旨	市の対応方針・確認結果
3	<p>私道の市道への編入について</p> <p>千川小学校から真正面に入る道があり、現在、私道になっている。また、そのもう1つ南側の通りのごく一部、30～40cmぐらいの幅が私道で、それ以外は市道になっている。私道の部分を、市道にする方法がないか、去年の春、市の道路課に相談した。道路課からは、市道にするには、現状が公簿の道幅と同じであること、抵当権の設定がないことなどの条件があると言われた。しかし、このままだと、公道にはしてもらえず、この私道の関係者は、子孫の代まで、常に登記簿の関係でその都度立会わなければならないので、今のうちに直したい。</p>	<p>権利関係の確認と道路境界の確定をしていただくのが大前提です。その方針に従って、道路課から説明しているかと思いますが、必要な道路幅員を確保して、安全に通行できる状態にしたいと思っています。</p> <p>個々の所有者の方々にご了解いただかないと、できないケースもあります。それぞれのケースに応じて、境界確定は、市の分はあるのかわかりませんが、調整をしながら、1つずつ対応していただければと思います。私からも道路課に伝えておきます。</p>	<p>当該道路は市が表面管理している私道であり、道路敷地の所有権は共有になっていますので、沿道の土地所有者が道路敷地との境界を確定するには、道路敷地の共有者全員の了解を得る必要があります。</p> <p>道路敷地を市に寄付して、道路区域に編入するという方法もありますが、道路敷地を寄付するには、道路幅員等が確保されていること、道路敷地と道路敷地に接する土地との境界が確認されていること、共有者全員の持分であることなどの要件があり、抵当権が設定されている場合には抹消登記していただくことが前提となります。</p>
4	<p>ムーバス路線について</p> <p>八幡町はバスの便がよいということで、市では、ムーバスの新規路線は設けないと聞いたが、高齢の方は、八幡町4丁目から市役所に行くのに不便である。バスで行っても京王ストアの前で降りて、団地の中を歩くとか、いろいろなやり方をして、場合によっては三鷹駅までバスに乗って市役所に行くという話まで聞く。緑町3丁目の方も便が悪くて困るという声も聞いているので、ムーバスで、NTT研究開発センタの北側の道を通る路線をつくるなど、ぜひともいろいろ考えていただき、年寄りが困らないようにしてほしい。</p>	<p>ムーバスは、バス路線の空白地域を埋めるとともに、地域と駅をつなぐルートを設定しています。既に、一定の路線ができていますので、新規路線はの設定は考えていません。</p> <p>ただ、ムーバスの最初の路線から13年経ち、その後、新しい施設もできたり、武蔵境地域は鉄道高架化により、南北交通がスムーズになりますから、今後、どういう考え方で進めるか議論しています。</p> <p>八幡町4丁目では、バスで緑町まで行って、歩いて市役所に行くのが一番近い行き方ですが、これ以上ムーバスをつくるのは、厳しい状況です。</p> <p>バス会社に運行をお願いしますから、ある程度の乗客がないと営業になりません。現在、最終的に路線をつくった三鷹・武蔵境間、三鷹・吉祥寺間も、乗客数はあまり伸びていません。全体を見ますと、収支が何とか均衡していますが、これから先、路線を増やすとしても、ある程度のお客さんが乗っていただける場所でない、難しい状況です。</p>	<p>ムーバスは、平成7年の運行開始以来、平成19年4月の2路線をもって7路線9ルートとなりました。バス交通の空白・不便地域はほぼ解消され、福祉輸送であるレモンキャブ事業と合わせ、本市の市民交通サービスは、一定の到達点に達したものと考えています。</p> <p>しかしながら、武蔵境駅周辺における鉄道連続立体交差事業や都市計画道路・区画道路整備等、都市基盤の完成による交通環境の変化や、「高齢の方や小さなお子様連れの方をはじめ、多くの方が気楽に安全にまちに出られるようにすること、多くの人の移動を確保すること」等のムーバスの基本コンセプトに加えて、「通勤・通学での利用者増加」「運行時間帯の長時間化」等、市民要望の多様化などが課題となっています。</p> <p>現在、ムーバスやレモンキャブ、一般路線バスやタクシー等の公共交通事業者等で構成する「武蔵野市地域公共交通会議」を設置し、事業者各々の機能分担を検証して、市民誰もが利用しやすい交通体系の実現に向けて検討を進めているところです。</p>

	意見要旨	当日の市長発言要旨	市の対応方針・確認結果
5	都立武蔵野中央公園におけるドッグラン設置の可能性について 中央公園のことでお願いがある。私も犬を飼っているが、犬がところかまわず糞尿をするのを見ていると、嫌な感じがする。中央公園では、夕方になり、管理人がいなくなると、犬を放してしまう方がいる。「犬はリードをつけてください」というアナウンスが放送されるが、実際、私を通して、犬が原っぱのコースのところに出てきて、歩いている人に飛びかかったりしている。市内のどこかの公園で、ドッグランが設立されたと聞いた。中央公園にも、ぜひドッグランを設立してほしい。	都立公園では、広いところでは、いろいろな取り組みをしていて、ドッグランは小金井公園にもあるので、中央公園でもできないか、東京都にお話していますが、中央公園は、面積的には小さい都立公園であり、都の判断としては、ドッグランを設置するのは難しいということでした。 市内では、境の亜細亜大学の近くに、武蔵川公園という、利用状況がよくなかった公園があり、一昨年、ドッグランとキャッチボールができる広場として整備しました。「武蔵野ワンワンパトロール隊」の方に管理をお願いしていますが、ルールが守られ、よい運営がされており、1年半ぐらい経っていますが、市内の他の公園でできるところがないか探していきたいと思えます。 市内には、市立公園が約160ありますが、小さい公園が多く、紋切り型のしつらえで、利用も限られているので、全体の見直しをして、皆様の要望に沿うような新しい形の利用の方法を議論していきたいと思えます。	既存公園のストックを活かした様々な市民ニーズに沿った「公園緑地リニューアル総合計画」を策定中であり、ドッグランも含めた新しい形の利用方法を検討します。
6	中央通りさくら並木公園について 中央通りに、「さくら並木公園」という新しい公園をつくる計画がある。特色ある公園をつくるという市の考えで、私もワークショップに参加したが、この公園はトイレは設けないというお話を伺った。一番近いところで、市役所まで行かないとトイレがないが、高齢者や障がい者がこの公園に来て、休憩や食事できないことになる。公園にトイレがほしいが、そんな贅沢も言えないとなると、広い通りに、小さくてもいいからトイレをつくって、そこを安全の拠点にして、何か事故があったときにブザーが鳴るようにすれば、個々の公園にトイレがなくてもよいと思う。23区を見ても、公園にはすべてトイレが整備されている。特に、バリアフリー法ができてから、他市も、公園の新設や改修のときには、トイレの設置を検討すると聞いている。武蔵野市でも、考えてほしい。	公園にトイレ問題を設置するかは、大きな課題です。例えば、子ども連れでトイレがないと困るという方は、結構いらっしゃって、トイレという声もあるんですが、周辺住民の皆さんは、トイレの設置を大変心配されます。安全の拠点になればよいですが、一般的に、トイレは危ない場所と考えられています。死角ができることもあって、むやみにどこでもトイレをつくるわけにはいきません。 本市の基準として、5,000㎡を超える公園には、多くの皆さんが来られるから、トイレを設置することとしています。中央通りのさくら並木公園の用地は、それほどの面積がないので、設置する予定はないのですが、トイレは、市役所南側の武蔵野市民公園にありますので、そちらを利用いただければと思えます。 さくら並木公園については、トイレのない状態で開設する予定ですが、しばらく使い勝手を見て、皆さんの要望を聞きながら、改善していければと思えます。	トイレは、誰でもが安全に利用できなければなりません。一部の心無い利用者により、鍵や壁を壊されるケースが後を絶たないのが現状です。そのことが、積極的に設置できない要因の一つにもなっています。 今後、引き続き、公園利用状況を把握するとともに、近隣住民や公園利用者の方々々と連携を図りながら、魅力ある公園づくりを目指していきます。

	意見要旨	当日の市長発言要旨	市の対応方針・確認結果
<p>7 中央公園周辺の安全対策について</p>	<p>八幡町2丁目は、ほとんど中央公園で占められ、人口は、富士重工業の社宅と、その他十数軒である。安心・安全の視点から、防災の拠点ということを含めて、中央公園から、千川上水寄りのNTT研究開発センタの道路まで通路を拡張できないかということが、かなり歴史が深い要望としてある。</p> <p>今度、武蔵野北高校が改修する際に、グラウンドも使えなくなるため、北高のフェンスを壊して、公園側への通路をつくって、北高の生徒がそこをグラウンドに使ったらどうかという検討もされている。</p> <p>また、夜は大変寂しいという状況になっている。公園内には、トイレが2つあり、場合によっては死角になるので、管理をしっかりしてほしい。</p> <p>グリーンパーク遊歩道の途中の拡張部分についても、夜は極めて寂しい。木も茂っていて、女性の1人歩きはしにくい雰囲気もあることも含めて、公園の安全対策をお伺いしたい。</p>	<p>実は大変難しい課題なんです。中央公園内の北側は、夜は真っ暗です。公園側に聞いたところ、夜は暗いということで、逆に人を寄せつけなくなっているとのこと。明るいと、人が来るということもあって、来られたときの安全確保が難しい状況にもあるので、現状では照明は明るくせずにしているということです。</p> <p>都立武蔵野北高校は、これから全面リニューアルをして、骨組みを残して中身をすべて取り替えるそう。当面、生徒たちはプレハブ校舎で授業をするとのこと。校庭がなくなるということもあって、都立公園と都立高校です。お互いの連携でやられたらいいと思っていますが、そういう課題があるのであれば、地域の者としては、最大限安全面を考えていかなければいけませんので、東京都にその辺は確認していきたいと思います。</p>	<p>武蔵野中央公園周辺の一帯は、「グリーンパーク」と呼ばれ、市と都で指定する「広域避難場所」であり、その区域にあって、最も広い面積を有するオープンスペースが中央公園です。</p> <p>地域防災計画においては、広域避難場所は、「火災の延焼やその他の危険から避難者の生命を保護するために必要な面積を有する場所」として、安全性の高い場所であると位置づけています。ご要望の区域内の新たな通路を確保することは、防災上の観点からは、必要性はないと判断しています。</p> <p>また、武蔵野中央公園は、身体障害者対応のトイレを除き、他の都立公園と同様、24時間使用可能な管理を行っています。近年、防犯の観点から、商店街や公園などにも、防犯カメラの設置に関する意見・要望がありますが、都では、現在のところ、そうした対策は考えていないようで、従前の管理体制を強化し、安全性確保に努めるとのことです。</p> <p>市立公園では、安全・安心を最優先に死角ができないよう、樹木の適正管理による視認性の確保に努めています。また、月に1度の夜間照明調査や夏季における夜間パトロールをより強化し、安全面確保に努めています。</p>

	意見要旨	当日の市長発言要旨	市の対応方針・確認結果
8	<p>防災無線のチャイムについて</p> <p>子供たちが帰る時間は、大体夕方5時だとは思いますが、そのとき、武蔵野市では、5時のチャイムが鳴る。西東京市では、チャイムだけではなく、「5時なので、子供たちは帰りましょう」というアナウンスがあり、子供の帰りを促してくれるそうだ。私の子供は時計がなかったから、帰ってくるのが遅くなったと言うことがある。チャイムも聞こえたり、聞こえなかったりするときもあるらしいので、5時のチャイムの音を大きくして、なおかつ、声で帰りましょうというアナウンスをしていただければ、子供たちが早く帰ってきてくれると思う。また、中央公園では、4時半になると、駐車場が終わりまですというアナウンスが流れる。</p>	<p>防災無線を利用して、点検を兼ねてやっている放送です。論点がズレますが、防災無線の聴取範囲を調査をして、聞きづらいところについては増設するという取り組みをしています。</p> <p>もう一つは、ケーブルテレビで、災害時緊急放送サービスをこの2月中旬からスタートしますが、ケーブルテレビに加入されている世帯で、専用の受信機を設置いただくと、防災無線の情報が音声で入ってきます。月350円で、大雨のときでも、大雨警報ですという放送が家の中に聞こえるようになります。5時の放送も、どの程度、工夫できるか担当のほうに聞いてみます。本来、子供に帰りなさいというためのチャイムというよりも、時を告げるチャイムかと思いますが、その辺の目的と、変更の可能性も含めて、確認をしてみます。</p> <p>お子様とは、チャイムが鳴ったら帰ってきなさいというお約束をしていただければと思います。</p>	<p>防災無線の5時のチャイムは、防災無線の動作確認を主な目的として放送しています。</p> <p>また、毎日アナウンス放送をしてしまうと慣れてしまい、緊急性を感じなくなってしまう恐れがあるため、アナウンスを用いた放送は、基本的に緊急時の放送のみに限定しています。</p> <p>ただし、毎月1日のみチャイムの後にアナウンスを行っています。</p>
9	<p>災害時のサイレンについて</p> <p>防災無線について、火事か何かのときに、サイレンが鳴るが、いつも何が起きたのかという不安を感じる時があるもので、こういうものを鳴らしたら、近くが火事ですよということを市報に掲載して、市民に知らせてほしい。5時のチャイムというのは、多分、子どもは家に帰りなさいということだと思う。そのほか、近くでサイレンか何か鳴るときがある。例えば、消防車が行くときに、防災無線のサイレンが鳴る。それが何かということを市民がわからず、不安に感じていると思うので、何らかの方法で知らせてほしい。</p> <p>また、サイレンの音は西東京と武蔵野と音が違う。西東京の音は昔の空襲のときみたいな音、ポーという音である。</p>	<p>武蔵野市では、サイレンは鳴らしていないと思います。火事の場合は、特に鳴らしていないはずですが、西東京市、三鷹市、小金井市で、どのようなサイレンを鳴らしているかというのを確認してみたいと思います。</p>	<p>5時のチャイムは、主に防災無線の動作確認のために鳴らしています。広く市民の皆様へお知らせしているもので、特に子どもに向けてのお知らせではありません。</p> <p>また、本市では火災時にサイレンは鳴らしていません。本市では、9月1日(防災の日)の正午と防災訓練時にサイレンを鳴らしており、それ以外では「内閣総理大臣から東海地震に関する警戒宣言が発せられたとき」に鳴らします。</p> <p>【近隣のサイレン吹鳴状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆三鷹市 ……震度5弱以上の地震が発生したとき。火災では鳴らしていない。 ◆西東京市…火災時に田無庁舎と保谷庁舎のサイレンを鳴らしている。 ◆小金井市…災害時に、防災無線ではなく、一部の消防団の詰所に設置しているサイレンを鳴らしている。

	意見要旨	当日の市長発言要旨	市の対応方針・確認結果
10 自転車 走行 ゾ ー ン の 設 置 に つ い て	<p>道路交通法が変わり、自転車は車道の左側を走るということになった。しかし、白い線が引いてあるだけなので、心ないドライバーは寄せてきて、自転車の行き場がない。私も、自転車を乗っているときに、とっさに止まったことがあり、その際は、ポケットに入れた携帯電話がドブの中に落ちてしまった。それだけで済んだからよいが、転倒して、車に轢かれでもしたら、大変だ。</p> <p>市内では、一部あるが、自転車専用道路という形で、青や緑の色をつけて、自転車マークを張ったラインをつけるなどしてもらえれば、自転車はそこを通るんだという形にできると思う。</p> <p>八幡町に関しては、武蔵野北高校の前の道路は右左関係なく、歩道は北高生徒の自転車の通り道になっており、歩行者たちが怖がっている状態なので、車道上に自転車ゾーンを決めておけば、自転車ゾーンを走れと注意できる。この間も注意したら、「そんなところを走ったら轢かれちゃうよ」という答えが返ってきた。</p>	<p>自転車の専用レーンを設置するのは、道路幅員が狭いため、厳しい状況です。今、整備されているのが、武蔵境駅南口の都道のかえで通りで、今年度は三鷹市分をやっています。来年度、武蔵境駅までつなげようということで、車道の両側に自転車のレーンを柵で囲って設ける予定です。幅員があれば、そういう道を増やしていきたいと思います。</p> <p>伏見通りは、浄水場まで整備されていますが、数年後には、調布までつながっていきます。伏見通りで、一部、自転車ゾーンを試行しているところがあります。伏見通りには、広い歩道幅員があるので、自転車ゾーンと歩行者ゾーンを分離できる可能性もあります。</p> <p>調布で、歩道の中で色分けをして、自転車ゾーンを設けることが試行されています。広い道であれば、工夫できるんですが、町中ではなかなかできません。武蔵野市では、文化会館の前の「語らいの道」について、一方通行の道ですが、車道の両側に色を塗って、なるべく自転車はそこを走ってくださいという形でやっています。そういう状況を見ながら、狭い道でも工夫して、自転車の通る場所をわかりやすくしたいと思います。</p> <p>自転車は、ある区間だけ専用道路があっても、その先は行きにくい面がありますので、ネットワークという形でつなげていきたいと思います。</p> <p>伏見通りも大きな自転車の道になっていくし、井の頭通りの先は、「多摩湖サイクリングロード」として、狭山のほうにつながっていきますが、井の頭通りを何とか工夫ができないかと思います。やや幅員が広いところを、自転車の骨格的な幹線道路として結んで、あとは狭い道は色分けをしてできるところをネットワーク化して、自転車が安全に乗れる空間を生み出していけたらと思います。</p>	<p>自転車レーン・ゾーンについては、単一の路線・区間のみを整備するのではなく、周辺の路線・地域との、さらには隣接区市とのネットワークの形成が必要となります。武蔵野北高校の前の伏見通りの自転車レーン・ゾーンについても、井の頭通り以南の進捗や、五日市街道といった幹線道路だけではなく、接続をする生活道路との連続性などを、十分に考慮しながら検討していきます。</p>

	意見要旨	当日の市長発言要旨	市の対応方針・確認結果
11	中央公園の駐車場待ちの車両について 八幡町4丁目の交差点から、「親の家」の前の都営アパート側において、休みの日に中央公園内の駐車場に車を止めるために、朝早くから待っていて、長い列ができている。車があんなに止められていたら、自転車は通れない。市役所に言うのか、警察に言っているのかわからないが、とりあえず、市長の耳に入れておきたい。	道路上の話ですので、基本的には警察の管轄ですが、中央公園の駐車場が開くのは9時からなので、それまで待っているわけですね。車に人が乗っているから、取り締まりは難しいですが、市役所近くの野球場の駐車場も、車がずっと待っています。あそこはバス通りだから、なおさらよくないですが、そういう課題はあります。基本的にはあまり長時間の駐車は道路交通法上いけないことなので、警察にはそういう課題が出たということは申し伝えておきます。	状況について武蔵野警察署に伝えたと、武蔵野警察署からは、公園への入庫待ち車が長蛇になったときを見受けた場合には、すぐに遠慮なく、その時点でご連絡(Tel55-0110)をいただきたいとの回答がありました。ご連絡があれば、現場に向き事実確認できることと、事実確認ができれば、公園事務所ならびに入庫待ち車に対して、確認に基づく指導を行うとの見解が示されています。
12	公衆トイレについて 市内を見ると、公共トイレがない。駅にしかなくて、公園の中に行っても、公園の真ん中辺に小さいのがあがるくらいで、外から見てもわからない。安全面から問題があるし、他市区から人も来るし、私どももまたよそに行く。お互いに利用できるようなことをこれから目指していったほうがよいのではないかと。自分の市だけではなくて、ほかの周辺のところのことも考えて、まちづくりを考えていくのがよいと思う。	駅周辺には、公衆トイレがあるところとないところがあるんですが、現状、公衆トイレについて、武蔵野市では、きちんとした基準や方針を持っていません。公衆トイレのあり方について、市として考え方を持たないといけないと考えており、もう少し時間をいただいて整理をしようかと思えます。例えば、吉祥寺はなぜ公衆トイレが少ないのかなど、意見をいただいたときに、それに対する答えがうまく言えない状況にあります。多くの皆さんに武蔵野市で楽しんでもらうときには、やはり一定のそういう設備も必要だと思っています。ある一定規模以上の公園には設置していますが、そういう分布状況などを皆さんにお伝えできていないので、整理しながら、どの程度これから必要なか、研究をしてみたいと思います。	駅周辺の公衆トイレについては、昭和40年代に建設され、改築を重ね現在に至っていますので、利用者にとっては満足できるものではないと思われます。しかしながら、新しい施設を建設するにも、駅周辺の敷地確保は不可能な状況にあり、公衆トイレが少ない原因のひとつとなっております。今後の市の方針としては、駅前周辺開発等において、公衆トイレを都市施設と位置づけ計画的に配置することを考えています。また、市内の公園には、大小様々12箇所のトイレがあります。ホームページによる施設紹介の中で、各公園の主な施設としてトイレを書き記していますが、分布状況を整理したわかりやすい配布物等、できていない状況であることから、その広報の方策や方法について、今後、研究・工夫をしていきます。

	意見要旨	当日の市長発言要旨	市の対応方針・確認結果
13	<p>自転車専用道路について</p> <p>自転車専用レーンについて。レーンを設けても、自転車は左側通行ということを徹底しなければ、そのレーンも生かないし、現行の歩道にしても歩行者が平気で左側通行をしている現状なので、そのマナーをなんとかしなければいけないと思う。</p>	<p>※左記の意見については、タウンミーティング終了後に回収した、アンケートに記入いただきました。</p>	<p>市では、武蔵野警察署との共催で、道路交通法等、自転車のルールの周知・マナー向上のため、平成20年10月から、自転車安全利用講習会を開催し、正しい交通ルールについて多くの方に再認識いただくよう努めています。</p> <p>また、歩道はあくまで歩行者優先ですので、自転車利用者の方は徐行し、歩行者の通行を妨げないよう、一声かけるなど譲り合いの精神で通行をお願いします。</p> <p>なお、歩道上を自転車が通行する場合は、自転車は車道寄りを、歩行者は宅地寄りを通行することとされています。</p>

3. アンケートでいただいた感想

※アンケートの自由回答欄でいただいた感想のうち、主なものを掲載しています。

◆ タウンミーティングについて	
1	市長が自ら市民と対話する心意気がよい。
2	前回の話題・課題が前進されていることはすばらしい。
3	自治は、あくまでも主役は市民です。市民が選んだ市長ですから、市民のため思う存分働いてください。生きている限り応援します。
4	市長の誠実な態度を拝見してよかった。
5	仲間と音楽劇をやっていて、その練習や創作のために、よくコミセン（東・南・中央・西久保）を利用させていただいています。若者に限らず何かをやりたい人にとって、とてもいい場所だと思います。これからの地域コミュニティの拠点として、いろいろな年代の人たちがたてにゆるやかにつながって共に地域づくりをやっていける場所だと思うので、今後コミセンに提案し、活用していきたいと思っています。はじめて参加したのですが、自分たちの住む市のことを市民みんなで考え、その声を市政に生かしていくという試みは、とてもすばらしいと思いました。また参加させていただきます。
◆ 八幡町コミセンの新築・移転について	
1	地域住民の要望がなかなか届き難いようだね。残念です。
2	地域の方々の熱意が伝わり、市長も誠実に返答していたのがよかった。ハードだけでなくソフト面の充実が今の熱意のまま出来上がることを願っています。
3	未来に向かって長い目で考えたコミセン作りを願う。
4	コミセンの早期建設を願う。
5	市に造ってもらうのではなく、住民が共に造るという意気込みが欲しいと思う。
6	早く良いコミセンが出来る事を望みます。

4. 前回のタウンミーティングでいただいた主なご意見とその後の進捗状況

※ 前回(H18.8.6 武蔵野中央公園北ホール) いただいた主なご意見を分類・整理のうえ、分野別に掲載しています。

① 健康・福祉

分類	番号	ご意見(H18.8.6実施)	報告書(H18.10発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
地域福祉	1	地域における高齢世帯の助け合いについて。現在、老人の一人暮らしには、コミュニティ式の助け合いがあると思いますが、85歳以上の二人暮らしでも災害時の避難などを助け合う仕組みが必要です。	市では4年に一度、独居高齢者の調査を行っていますが、住民票では一人であっても、同じ住所で別の住民票を作って1階と2階で同居されていたり、日中だけ独居になる方もいます。ご夫婦など住民票が同じ高齢者の世帯は、ある程度把握できますが、それだけでも限りませんので、実態を把握することが難しい状況です。平成17年度に策定した福祉総合計画に基づいて、地域社協が実施する安心助け合いネットワークづくりを支援するとともに、災害時の要援護者の情報を収集し、いざと言うときに役立てる仕組みづくりを進めています。	現在、災害時要援護者対策事業を進めており、平成19年度には、2つの地域社協(吉西・東部)でモデル事業を実施し、平成20年度は新たに5つの地域社協(関前・桜野・御殿山・中央・西久保)を加えて事業を実施しています。本事業を通じて、災害時のみならず、日頃から地域の避難支援者が要援護者との関わりを深めています。他の地域社協においても、孤独死対策や日頃の声かけについての意識が高まり、各地域でネットワークづくりのための様々な活動が広がってきています。 なお、平成20年4月～5月には、民生委員にご協力いただき、訪問による独居高齢者の調査を行い、要援護者などの把握と見守り、声かけなどを行いました。
介護保険	1	介護保険の市の7%助成廃止の再考してほしい。	旧制度からの激変緩和のため、利用者負担の7%を所得等に関係なく、市独自に助成する制度については、所期の目的を達成したと考えられることから、平成18年6月利用分までで終了し、7月からは、低所得等の方に限り5%の補助という形で新たな制度をスタートしたところです。	平成18年7月から、低所得者対策事業として開始した「介護保険利用者負担額助成事業」については、平成19年4月から、対象者の所得制限の要件を緩和する改正を行いました。また、平成21年度からは、助成対象となる要件を住民税非課税世帯に緩和し、利用者負担分10%のうち5%分を助成する制度を継続して実施します。
介護保険	2	介護保険などで高齢者の税負担が重くなっていますが、市長はどう見えていますか。	現行制度では、保険給付費の19%を65歳以上の方(第1号被保険者)が負担しているため、保険給付費の増加により保険料が上がります。本市では、介護保険料について細かく(10段階区分)所得段階を設定することで被保険者の負担能力に配慮しています。	介護保険事業は、平成21年度から、第4期目を迎えます。居宅サービスの水準の維持拡充を図るとともに、介護療養型医療施設の廃止や認知症高齢者の増大など、社会状況の変化に合わせて、一定の施設整備を行うことを基本としながら、介護給付費等準備基金などの活用を図り、現行の介護保険料基準額を据え置きます。また、介護保険料の所得段階区分の多段階化をさらに進め、所得累進性を高めることにより、低所得層への配慮をより一層強めていきます。

② 子ども・教育

分類	番号	ご意見(H18.8.6実施)	報告書(H18.10発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
子育て支援	1	子どもの医療費補助・児童手当制限の拡大を。	児童のいる家庭に対しては、従来、国や都の助成制度に、市が一部上乘せして助成しています。児童手当については、平成18年度より、対象年齢が小学3年修了前から小学校修了前に引き上げられ、所得制限の限度額も緩和されました。乳幼児医療費助成についても、平成17年10月から、乳幼児の医療保障の公平性や子育て支援の観点から、市の独自事業として、他市に先駆けて、未就学児のすべての保護者の所得制限を撤廃しました。これらの制度は、次世代育成支援策の推進や少子化対策の観点から拡大する方向にあり、今後も、国や東京都の動向を注視していきたいと考えています。	児童手当については、平成19年4月分から、乳幼児加算として3歳未満児の第一子、第二子は月額5,000円を加算し、一律に月額10,000円を支給しています。児童の医療費助成については、平成19年10月から、対象年齢を拡大し、小中学生には、義務教育就学児医療費助成制度として、所得制限は設けず、保険診療の自己負担分の3分の1を助成しています。東京都は、平成21年10月から助成範囲を拡大する提案をしており、市としては、課題を整理しながら、積極的に対応していきたいと考えています。
保育園	1	市立保育園で、一部の部屋にしかクーラーが設置されていない園に、市長自らが暑い日を選んで訪れてみてほしい。	涼環境創出事業は評価をしっかりと行い、子ども成長・発達に良い環境にしていきます。クーラーの設置についても前向きに検討していきます。	平成19年度に、未設置の7園に空調設備を設置しました。また、涼環境創出事業の取り組みは今後も続けていきます。
学童クラブ	1	児童の安全の観点から、学校休業日の学童クラブの開所時間をせめて朝8時30分からにしてほしい。	現在、学校休業日の保育開始時間は9時となっていますが、開始時間を8時30分とする点は今後検討していきます。	平成19年度から、学校の長期休業中等の育成開始時間を9時から8時30分に変更しました。
学校教育	1	セカンドスクールの見直しをしてください。市内の田畑等を利用して、野菜や米作りを年間を通して体験するほうが、“ふるさと”を感じ、もっと自然体験をできると思います。	小学校から中学校にかけての9年間を見通した今後のセカンドスクール等体験活動の望ましいあり方について、現在、体験活動検討委員会で検討しています。また、現在もいくつかの学校においてこのような取り組みを行っていますので、引き続き取り組みを進めていきたいと考えています。	セカンドスクール等については、体験活動検討委員会において協議を行い、平成19年12月に最終報告書がまとめられました。今後、報告書に基づき、セカンドスクール等の内容の充実を図っていきます。

分類	番号	ご意見(H18.8.6実施)	報告書(H18.10発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
中学校給食	1	中学校給食の早期実施をお願いします。	平成18年7月に、中学校給食検討委員会が発足しました。この委員会で、中学生にとって必要な給食のあり方などを検討いただき、その検討内容などをもとにして、中学校給食実施計画を策定していきます。	中学校給食の実施については、平成20年11月に第二中学校、平成21年1月に第一中学校で給食が始まりました。残りの4校については、平成21年度2学期に第三中学校と第五中学校、3学期に第六中学校、22年度1学期に第四中学校の順に開始する予定です。
生涯学習	1	老壮大学での生涯学習や小中学校での科学教育を充実させてほしい。	老壮セミナー(平成15年度より老壮大学から名称変更)のカリキュラムについては、教育的観点から最新のニーズに応える内容で実施しており、今後内容の研究をしていきます。また、身近な事物や現象についての観察や実験を通して、子どもたちに科学的な見方や考え方を養う科学教育を充実していきます。	いきいきセミナー(平成21年度より老壮セミナーから名称変更)は、毎回さまざまな講師を迎えて、新たな企画を実施しています。科学教育については、平成19年度から、小中学生を対象とした「むさしのサイエンスフェスタ」を実施しています。この事業では、教師や地域ボランティア、地元の大学や企業等の協力を得て、ブースを設置し、生活に身近な科学の実験や観察等を通じて、科学の面白さを体験させ、学ぶ意欲の向上を図っています。また、小学校高学年における理科授業の充実を図り、自然や科学への興味・関心を高めるため、専門性や指導力の高い理科の教員の各校への配置を進めています。
武蔵野プレイス	1	税金の使いみちを見直して欲しいと思います。やはり、武蔵野プレイスはシンプルに本当に目的が何なのかを考えて、使いやすければ華美にする必要はないと思います。今までの計画では、建設コスト・ランニングコストといずれも高すぎます。	武蔵野プレイス(仮称)の建設については、施設規模の縮減などを盛り込んだ修正案に対し、市議会での意見や、「基本設計の趣旨に沿った建設を」といった陳情が市議会で採択されたことから、基本設計立ち戻って、課題を整理するために、平成18年度に専門家会議を設置し、実施設計に向けた検討を行っています。建設等の費用については、効率的、効果的な運営を目指していきます。	武蔵野プレイスについては、平成18年7月に専門家会議を設置し、平成19年3月に、同会議から最終報告書が提出されたことを受けて、平成19年6月に、市の基本的な考え方を表明しました。同年10月基本設計の修正を完了し、平成20年3月に管理運営基本方針をまとめ、同年6月末に実施設計を完了しています。平成21年1月に建設工事に着手しました。今後、2カ年強の工事期間を経て、平成23年の夏頃には「ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイス」として、開館する予定となっています。

③ 緑・環境・市民生活

分類	番号	ご意見(H18.8.6実施)	報告書(H18.10発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
公園	1	雑草の刈り取りを定期的をお願いします。夏場は、特にこきざみに。	市で管理している公園は市内で約150箇所あり、この公園すべてをご要望のとおり管理するのは困難であると考えています。今後は、市民の皆様と緑の管理方法について検討していきたいと考えています。	高齢者の雇用創出を目的に、シルバー人材センターに除草(年3回/1公園)、清掃(週1回/1公園)をお願いしています。公費を投入することだけでなく、市民の皆様と連携し適正な維持管理について検討していきたいと考えています。

分類	番号	ご意見(H18.8.6実施)	報告書(H18.10発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
公園	2	我が家では犬を飼っている。中央公園では、犬を放さないでくださいとのアナウンスを耳にするが、飼い主としては犬を自由に遊ばせたいので、中央公園にドッグランを設置してほしい。	【市長発言】犬の放し飼いで怖い思いをしたという声を多数いただいていますので、設置するには議論が必要だと思います。 最近、大規模な都立公園ではドッグランが設置されてきています。小金井公園にもドッグランがありますが、小金井公園は中央公園の何倍もの面積があります。また、都内の臨海部の大きな都立公園にもドッグランが設けてあるとのことで、東京都としても、一定規模以上の公園に設置をしているとは思いますが、中央公園への設置については、面積の点から可能かどうか、東京都にも検討をお願いしたいと考えています。	市内の犬の登録は、約5,000頭であり、実数としてその2倍の約10,000頭が飼われていると推測され、ドッグランの必要性を認識しています。その一方で、マナーの問題や糞の問題などの苦情も多いです。 そこで、愛犬家で集まる市民ボランティア団体「武蔵野ワンワンパトロール隊」の協力により、平成18年10月より武蔵川公園で、初めて「ドッグラン」を試行しました。約1年間の追跡調査の結果を受け、平成20年4月から本格実施しています。今後はさらに、マナーの啓発を一層強化し、犬の苦手な方が評価できるよう、また第二・第三の武蔵川公園を全市に波及できるよう事業展開を図ります。
公園	3	子ども達は、よくグリーンパーク遊歩道で遊んでいる。子ども達は、ちょっと怪しげなところで遊ぶのが好きなようだが、親としては、もう少し照明を増やしたり、生い茂っている草を定期的に刈ったりして、見通しの良い、安全に遊べる場所にしてほしい。	公園については、木が密植すると見通しが悪くなり、危険な空間となります。市としても、なるべく外からも見えやすいように公園を整備していますので、危ないと思われる点をお知らせいただければ、いろいろな工夫をしていきたいと思えます。子どもは、なるべく目立たないところに秘密基地などを作りたいと思うのですが、親にしてみると、心配なこともあります。そのあたりのバランスも考えながら、公園や緑の整備を進めていきます。	市内の公園については、警察と連携して、年に一度、防犯調査を実施しています。また、職員が月に一度、公園の夜間照明調査や、夏季期間限定で、公園の夜間パトロールを行い、安全面の強化に努めているところです。 樹木については、できる限り自然樹形を優先して日常管理をしていますが、安全面を第一に近隣住民や利用者にも配慮しながら、バランスを重視した維持管理を進めています。
公園	4	八幡町コミセンのすぐ南側に「老人いこいの広場」という公園があるが、この公園の地面は、レンガを格子状に組んであるため、お年寄りが非常につまづきやすい。お年寄りが安心して歩ける地面にしてほしい。	担当の緑化環境センターで、現場を確認し、対応を検討していきます。	公園全体がユニバーサルデザイン化されていなかったことから、ご指摘いただいた部分については、平成19年度に、広場部分に土を入れ、敷きならしをする補修工事を実施しました。
公園	5	小公園に運動機具などを設置してほしい。	市内約150箇所の公園を順次、リニューアル改修を行っています。運動器具の設置についても改修時に行う、近隣住民の方々とのワークショップ等で検討していきたいと考えています。	現在、既存公園のストックを活かした様々な市民ニーズに沿った「公園緑地リニューアル総合計画」を策定中であり、ドッグランも含めた新しい形の利用方法を検討します。また、公園改修については、近隣住民のご意見を聞く意見交換会等の機会を設け、利用者ニーズに合致した整備を行う予定でいます。

分類	番号	ご意見(H18.8.6実施)	報告書(H18.10発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
緑化	1	千川上水の遊歩道を時々散策するが、車道側の柵のあるところはきれいだが、川の方に降りようとすると、枯れ枝や木の根などがあるため、お年寄りや子どもにとっては足元が危険な状態である。誰もが安心して歩けるよう、もう少し整備してもらいたい。	千川上水は、今までは東京都が管理していましたが、平成18年4月から武蔵野市に委譲され、整備の方法については、皆さんと相談しながら進めることができるようになりました。千川小学校の前の部分については、遊歩道を整備しましたが、あのような形で、水辺をきれいにし、魅力的な遊歩道を整備したいと考えています。市役所だけではなかなか管理が難しいことから、管理の方法についても、地域の方々はどうやって応援いただけるかも含めて、ご相談したいと思います。	平成18・19年度の2年間は、東京都が行ってきた日常管理を踏襲してきました。平成20年度からは、さらに数十年に一度強剪定されてきた高木類の基本剪定を実施しました。管理区域は、約3.8kmありますが、平成20年度は植生調査等を行っており、平成21年度には「千川上水整備計画(仮称)」を策定し、散策路や親水空間として地域住民に親しまれるよう、体系的に環境整備を進める予定です。計画の策定にあたっては、様々な生物が生息する空間としての役割を念頭に置き、上水部分と緑道部分、さらに隣接する公園緑地とのつながりを図り、植栽などにも配慮します。また、周辺の公共施設とのつながりや地域との関わりを強化します。
ごみ	1	集団回収に取り組んでいるが、市が実施する資源収集と、地域で行う集団回収とがあるため、だいぶ力がそがれている。他市では集団回収のみ実施というところもあるので、武蔵野市でもそのようにできないか。また、廃棄物についても燃やしてエコセメントにすればよいというのではなく、脱焼却、脱廃棄という考えでいかないと先に進まないのではないかと。	【市長発言】皆様がいろいろ取り組みをなさっているものもあるので、市としても皆さんの意見を聞きながら、「ごみの量を減らす」そして「ごみの焼却を減らす」という姿勢で取り組んでいきたいと思っています。いろいろな集団回収を推し進めていく、あるいは、生ごみの堆肥化等のご提案をいただきながら、一緒に取り組んでいきましょう。	武蔵野市では、全世帯の約3割が、集団回収に参加しています。参加団体、世帯数ともに年々増えてはいますが、まだ集団回収のみにより、資源物を収集するのは難しいと考えています。しかしながら、集団回収事業は、資源物の有効活用、ごみの減量やごみの問題について関心を持ってもらい、ごみに対する意識の醸成に有効であることから、今後引き続き、積極的に拡充していきます。また、ごみ減量を図るため、ごみチャレンジ700グラムキャンペーンに取り組んできました。一人一日当たりのごみ排出量は、キャンペーン前の平成18年10月に764グラムだったものが、平成20年12月現在では728グラムまで減少しています。しかし、依然として他市を大きく上回っていますので、ごみの発生抑制や小規模事業者へのごみ排出指導強化などを通じ、一層のごみ減量を進めます。また、レジ袋の削減などにも力を注いでいきます。
市民農園	1	市民農園をもっと増やしてほしい。	現在、市民農園は市内に6園539区画あります。利用期間は2年間で1年ごとに3園づつ申込をお受けしています。市民農園用地は、農家から借用しているものです。本市のように農地が少ないところでは、農地を借用することは非常に困難ですが、市民農園利用希望者が多いことから、今後とも適切な用地があれば、新設できるよう取り組んでいきます。	市民農園は、平成20年4月から、関前3丁目に1園新設され、市内7園595区画になりました。平成21年2月に、3園の募集を行いました。定数の2倍に近い応募をいただきました。今後も適切な用地があれば、増設できるよう取り組んでいきます。

分類	番号	ご意見(H18.8.6実施)	報告書(H18.10発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
就労支援	1	ワーキングプア対策として市で企業を立ち上げ、ワーキングプアたちを雇用してください。	雇用については、景気と密接な関係があり、企業の海外進出などにより国内の労働需要が減っていること、責任ある仕事をやりたくない若者が増えているなど、就職者の意識の変化、企業側も正職員を少なくして、臨時職員や外部委託を多くしており、その結果が雇用問題に現れています。雇用政策に関しては、国・東京都レベルで広域的に考えていくべきものですが、本市としては、ハローワークや東京都しごとセンターと連携して、就職支援セミナー等を開催しています。また、各機関で行う事業のパンフレットの配架をしています。 なお、市の直接的な雇用として、中高年齢者・障害者雇用創出事業を実施しておりますが、ワーキングプア対策を目的とした企業の立ち上げまでは検討していません。	平成21年度には、東京都の雇用創出区市町村補助金を活用して、道路看板実態調査や交通量調査など、就労の場を確保していきたいと考えています。 また、市役所の業務の中で、庶務的業務や窓口業務、事業補助などの業務について、平成21年4月から雇用期間1年間の嘱託職員を20名程度雇用します。さらに、武蔵野市福祉公社において、ホームヘルパー2級養成講習会の定員を倍増し、講習終了後、「武蔵野市介護サービス事業者リスト」に掲載されている事業所に勤務または登録した講習生に、受講料の8割をキャッシュバックする予定です。 現在、雇用情勢の急激な悪化により、失業を原因とする生活困窮相談が急増しています。まずは、市役所の福祉事務所において、相談者に緊急雇用対策や低所得者対策等の適切な施策を紹介しています。
防犯	1	防犯パトロールについて。子どもたちの安全を第一に守れるようにパトロールに力を入れてほしい。また、四丁目には、空き巣が多く入られることがあるので、パトロールを強化してほしい。	子どもの安全についてのパトロールは、ホワイトイーグルや、市民安全パトロール隊による巡回を行っており、今後も引き続き安心・安全なまちづくりに努めていきます。空き巣などの発生については、警察と連携し、市民安全パトロール隊に情報を提供し、パトロールの参考としています。	ホワイトイーグルは、平成18年度に1台増車し、平成19年度から3地区3台体制としました。また、平成20年度から活動時間を午後7時まで1時間延長するとともに、土曜日にも実施することとしました。 市民安全パトロール隊は、平成20年10月に第3期目の委嘱を行い、65名となりました。 自主防犯パトロール隊については、平成19年6月に市・警察・防犯協会との意見交換会を開催し、その後、市からの情報提供・協力要請に基づいて、パトロールを実施いただいています。また、平成19年から、自主防犯パトロールニュースを発行し、情報共有を図っています。さらに、平成20年6月に地区ごとの意見交換会を開催しました。
防犯	2	八幡町コミセンで月に1度パトロールをやっているが、千川小学校に隣接したマンションの辺りや、八幡町バス停から公園入り口までの辺りは、木があって暗いため、街灯を設置していただきたいと思う。	街灯の明るさについては、警察と連携して防犯上問題があると思われる箇所について対応していきます。 なお、生活道路などの蛍光灯は暗いところがありますので、現行の3倍以上の照度を確保するため、蛍光灯器具の取り換えを進めています。八幡町は平成18年度中に全域の取り換えをします。それでも暗い場所については設置後に再度検討したいと考えております。	平成16年度から18年度までの3か年で市内全域の街路灯の照度アップを実施しました。八幡町地区については、平成18年度に街路灯の照度アップ事業を完了しました。それ以降については、要望があれば調査して個別に対応しています。

分類	番号	ご意見(H18.8.6実施)	報告書(H18.10発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
防犯	3	八幡町の交番には、お巡りさんがいるのを見たことがない。朝夕、子ども達が行きかう時間帯だけでも、必ずどなたかがいる交番にしていたらと思う。	【市長発言】現在、交番の統廃合の動きがあり、八幡町の交番は存続しますが、西久保や吉祥寺本町4丁目の交番を統廃合しようという方針が出されています。市として、交番の存続・警察官の配置・パトロールの充実に関する要望書を警察署に出し、交番の形を残す方向で検討いただいています。今までのように警察官が常駐するのが難しいですが、OBや警察相談員の方々の駐在も含め、新たな方法を検討してもらえるかと思えます。空き交番についても、なるべく相談員等の人的配置をしていただく、または、電話をとればモニター画面に本署の方が映るなどの工夫をいただくようお願いしています。地域の皆様には、引き続き、交番の存続について声を上げていただくとともに、「あそこの交番は役立っている」という声が警察に届くと、警察も充実の方向に動いてくれると考えています。	平成19年4月より、西久保交番と本町四丁目交番が地域安全センターとなり、近隣交番が増員され両センターの区域を警戒しています。これに伴い、現在市内に14箇所ある交番・駐在所について、武蔵野警察署に空き交番対策とパトロール強化を要望しています。
防犯	4	八幡町交番に関しては、先日、中央公園に集まっている人たちの様子が危なかったのも、交番へ行ったら、お巡りさんがいなかった。お巡りさんの手が足りないのであれば、警察OBの方たちなどに、夜だけでも交番にいてほしい。	【市長発言】中央公園は10haあり、市内で最大のオープンスペースです。広域避難広場になっており、あらゆるところから避難しやすくする工夫も必要です。この地域周辺には、武蔵野大学や田無工業高校のオープンスペースや、千川上水もあり、防災の点から見ても、本市では比較的安全な地域です。北側から中央公園に抜けるルートに関しては、どの程度利用される方がいるか、検討が必要だと思えます。また、常時開放すると、いろいろな人が出入りする点で不安があります。一方で、防災の観点からは、いくつかの方向から広域避難広場へのアプローチを確保することが必要です。さらに、このルートを設置するためには、都立武蔵野北高校の敷地、NTTや富士重工業社宅等、民間の敷地をお借りすることになるため、その点に関する課題もあります。需要や安全面について、もう少し議論する必要があると思えます。	北側は、NTT研究所、富士重工業社宅、武蔵野北高と続いており、中央公園へのアクセスは確保されていませんが、非木造の建物が連なっているため、延焼遮断効果は非常に高く、公園の避難場所としての安全性・有効面積確保には高い効果を発揮する面も否定できません。この武蔵野中央公園周辺の一帯は、「グリーンパーク」と呼ばれ、市と都で指定する「広域避難場所」であり、その区域にあって、最も広い面積を有するオープンスペースが中央公園です。地域防災計画においては、広域避難場所は、「火災の延焼やその他の危険から避難者の生命を保護するために必要な面積を有する場所」として、安全性の高い場所であると位置づけていることから、ご要望の区域内の新たな通路を確保することは、防災上の観点からは、必要性はないと判断しています。
防災	1	北ホールの南側に中央公園があるが、公園の西側と北側は他の建物等で封鎖されており、災害発生時に、北ホールからすぐに中央公園には行けない。また、八幡町1丁目方面から北ホールを利用するにも、遠回りをしなければならない。公園の西側もしくは北側に通り抜けの入り口を作ってほしい。	【市長発言】中央公園は10haあり、市内で最大のオープンスペースです。広域避難広場になっており、あらゆるところから避難しやすくする工夫も必要です。この地域周辺には、武蔵野大学や田無工業高校のオープンスペースや、千川上水もあり、防災の点から見ても、本市では比較的安全な地域です。北側から中央公園に抜けるルートに関しては、どの程度利用される方がいるか、検討が必要だと思えます。また、常時開放すると、いろいろな人が出入りする点で不安があります。一方で、防災の観点からは、いくつかの方向から広域避難広場へのアプローチを確保することが必要です。さらに、このルートを設置するためには、都立武蔵野北高校の敷地、NTTや富士重工業社宅等、民間の敷地をお借りすることになるため、その点に関する課題もあります。需要や安全面について、もう少し議論する必要があると思えます。	北側は、NTT研究所、富士重工業社宅、武蔵野北高と続いており、中央公園へのアクセスは確保されていませんが、非木造の建物が連なっているため、延焼遮断効果は非常に高く、公園の避難場所としての安全性・有効面積確保には高い効果を発揮する面も否定できません。この武蔵野中央公園周辺の一帯は、「グリーンパーク」と呼ばれ、市と都で指定する「広域避難場所」であり、その区域にあって、最も広い面積を有するオープンスペースが中央公園です。地域防災計画においては、広域避難場所は、「火災の延焼やその他の危険から避難者の生命を保護するために必要な面積を有する場所」として、安全性の高い場所であると位置づけていることから、ご要望の区域内の新たな通路を確保することは、防災上の観点からは、必要性はないと判断しています。
防災	2	中央公園の北側には、富士重工業の社宅がある。社宅内は、住人の目もあり、不審者も出入りしないため、安心して子どもを遊ばせられる場所である。常時出入りできるような公園との通路ができた場合は、誰でも出入りできることになり、いかがなものか。しかし、非常時には便利だと思うので、災害発生時など特別な場合にのみ開くような門を設置するという方向で考えていただきたい。	【市長発言】中央公園は10haあり、市内で最大のオープンスペースです。広域避難広場になっており、あらゆるところから避難しやすくする工夫も必要です。この地域周辺には、武蔵野大学や田無工業高校のオープンスペースや、千川上水もあり、防災の点から見ても、本市では比較的安全な地域です。北側から中央公園に抜けるルートに関しては、どの程度利用される方がいるか、検討が必要だと思えます。また、常時開放すると、いろいろな人が出入りする点で不安があります。一方で、防災の観点からは、いくつかの方向から広域避難広場へのアプローチを確保することが必要です。さらに、このルートを設置するためには、都立武蔵野北高校の敷地、NTTや富士重工業社宅等、民間の敷地をお借りすることになるため、その点に関する課題もあります。需要や安全面について、もう少し議論する必要があると思えます。	北側は、NTT研究所、富士重工業社宅、武蔵野北高と続いており、中央公園へのアクセスは確保されていませんが、非木造の建物が連なっているため、延焼遮断効果は非常に高く、公園の避難場所としての安全性・有効面積確保には高い効果を発揮する面も否定できません。この武蔵野中央公園周辺の一帯は、「グリーンパーク」と呼ばれ、市と都で指定する「広域避難場所」であり、その区域にあって、最も広い面積を有するオープンスペースが中央公園です。地域防災計画においては、広域避難場所は、「火災の延焼やその他の危険から避難者の生命を保護するために必要な面積を有する場所」として、安全性の高い場所であると位置づけていることから、ご要望の区域内の新たな通路を確保することは、防災上の観点からは、必要性はないと判断しています。

分類	番号	ご意見(H18.8.6実施)	報告書(H18.10発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
防災	3	新築住宅に煙感知火災警報器の設置が義務づけられたが、順次古い住宅にも設置しなくてはならないと思うが、市からの助成補助は期待できますか。(例えば、耐震転倒防止機具等の補助)	東京消防庁の統計によれば、住宅用火災警報器(煙・熱)が作動した火災での死者は、その他の火災による死者の3分の1となっており、有効性が実証されています。消防署との連携も含め、検討課題であると認識しています。	平成19年度には、住宅用火災警報器の助成制度を高齢者・障害者に実施し、平成20年度も継続して実施しました。 また、平成21年度には、東京都市長会が実施する家具転倒防止器具助成事業を活用し、家具転倒防止器具の購入・取付けを希望する世帯に対し、一定金額まで無料で配布・設置を行います。
コミュニティセンター	1	八幡町コミセンを早く建替え、大きくしてほしい。一丁目、三丁目の人に便利になるように。	八幡町コミュニティセンターの建替えについては、平成17年12月の市議会で陳情が採択されました。 第四期長期計画には、公共施設の計画的整備について、「中・長期的な視点から、公共施設の維持・更新計画を作成するとともに、財政計画との整合性を常に検討する」「防災・安全・福祉・環境などの視点から、総合的な整備計画を策定し、実施していく」と定めており、平成18年度から開始された調整計画の策定の中で、市民の皆様と一緒に総合的に検討していきたいと考えています。	平成20年8月に第6期コミュニティ市民委員会を設置し、現在、コミュニティのあり方やコミュニティセンターに関する各種課題などを検討しています。
市民文化	1	旧中島飛行機武蔵製作所を語らずして、武蔵野市のまちづくりの歴史は語れないと思いますが、市長の考えは。	かつて市内に中島飛行機武蔵製作所があり、そのため何度も爆撃を受けたという歴史については、平成11年4月に作成した「都立武蔵野中央公園の歴史」というプレートや、「中央公園の前身は戦前の中島飛行機製作所という一大軍需工場の跡地です」という案内板などを設置して、周知を図ってきました。また、市内の小学校3・4年生が使用している社会科副読本「わたしたちの武蔵野市」の中で、「戦争中の生活」を取り上げ、当時空襲を受けた中島飛行機の工場の様子を写真入りで説明しています。 この地域の歴史と特性を若い世代に伝え、平和の大切さを訴えていくことが重要であるとと考えています。	平成19年度には「非核都市宣言25周年記念事業」として、平成20年度からは「非核都市宣言平和事業」として、継続的に8月に中島飛行機関連の写真パネル展、12月に中島飛行機跡地を中心にフィールドワークを実施し、平和の大切さを伝える事業を展開しています。 また、教育委員会で保管している、中島飛行機関連の空襲記録のスライドについて、劣化が進んでいたことから、平成19年度にデジタル化(DVD化)しました。このDVDは、市民への貸出も行っています。詳しくは、生涯学習スポーツ課(TEL 0422-60-1902)にお問い合わせください。

分類	番号	ご意見(H18.8.6実施)	報告書(H18.10発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
歴史資料	1	<p>武蔵野市内の歴史資料を残す郷土館を作ってほしい。 成熟の当市に歴史民俗資料館が欲しいと思いますが、いかがですか。</p>	<p>民具等を中心に集めた民俗資料館については、小金井公園の中に「江戸東京たてももの園」があります。市レベルでは、府中市に「郷土の森博物館」があります。 府中と武蔵野の民俗生活にはそう違いがないということもあり、武蔵野市では、旧家所有の古文書・古地図、開村以来の行政資料や公文書を中心とした文書系の歴史資料館の建設を検討してきた経緯があります。具体的な実施計画を立てようという段階で、その都度、財政面や社会的な要因で見送られてきました。今年度始まった第四期長期計画・調整計画策定の中で検討を予定しています。</p>	<p>第四期長期計画・調整計画では、「歴史資料館については、武蔵野市に残された文化財や古文書・公文書や、中島飛行機武蔵製作所に代表される戦争の記録などを収集・整理・保存・公開する場として、その規模や機能について引き続き検討を進める。」としています。計画策定のための各方面からのヒヤリングでは歴史資料を収集・整理・保存・公開する場は必要としつつも、新たな施設を作ることには否定的な意見が多くありました。今後は計画に沿って、規模や機能に関する検討を行ってまいります。</p>

④ 都市基盤

分類	番号	ご意見(H18.8.6実施)	報告書(H18.10発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
外環道路	1	<p>外環道路が地下化になったら、自然の破壊が進みます。地下水、雑木林がつぶされてしまうことに不安を持っています。これは、武蔵野市民の皆さんのみならず、地球環境の問題になってきます。</p>	<p>国と都は、地上部への影響、環境への影響等を大幅に緩和することができるという考えから、高架構造を地下構造に見直しました。 大深度地下方式では、地上方式と違い環境影響への負荷が低減されます。深層地下水や地上部には、ほぼ影響がありません。ただ、インターチェンジのある地上部分(本市にはありませんが)では、地下水や植物への影響は避けられません。しかしながら、現状、車の渋滞等により、動植物へ負担を強いており、環境破壊が存続しています。その意味では、渋滞等の緩和になるとすれば、環境改善につながるといえます。道路と環境問題は色々な事柄と関係していますので、様々な点を考慮しなければならないと考えます。</p>	<p>平成19年4月に、本線(高速道路部)は地下式に都市計画変更されました。その後、地域の課題を整理するため、JCT周辺を中心に「地域PI(市民参画による検討会)」が実施されました。国と東京都は、これまでのご意見や各地域での検討会の結果を踏まえて、平成21年1月に、「対応の方針(素案)」を公表しました。そこでは、今後の検討の進め方について、詳細な検討の各段階で、引き続きPIの手法を取り入れ、地域住民の意見を聴くとともに、必要に応じて、有識者の意見も聴きながら、具体的な検討を行い、その結果を速やかに公表するとしています。 東京外かく環状道路計画は、本線の地下化への計画変更を容認するものの、事業実施には地下水などの環境面や安全面の不安が一掃される必要があります。また、地上部街路として計画が残っている外環の2については、その必要性を認識できるほどの説明や基本的データが示されていません。計画の廃止を含めて丁寧な議論が必要と考えます。今後も引き続き、国や東京都に対して、必要な要望をしていきます。</p>

分類	番号	ご意見(H18.8.6実施)	報告書(H18.10発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
景観	1	電線を地下に入れ、電柱をなくしてください。	市では3駅周辺の道路を中心に、電線類の地中化整備を進めているところですが、今後もより一層の整備に向け、計画的に進めていきます。	電線類の地中化に関しては、吉祥寺駅南口の末広通りなどの整備を進め、現在、合計12km整備しております。 現在、市内には、約124kmの市道がありますが、市の予算も限りがありますので、全市域を対象に、電線類の地中化を実施することは困難であると考えております。しかしながら、今後は、駅前や幹線道路に限らず、電線類地中化のほか、歩道拡幅、カラー舗装化、木製ガードレールの設置など優先的に景観整備する路線を選定し、事業化計画を策定していきます。
自転車	1	駐輪場をもっと広域に作って欲しい。駅前の駐輪場をもっと多くとめられるよう考えて欲しい。整理員の教育を。	駅周辺の駐輪場については、駐輪スペースが不足していますので、駅から多少離れた場所でも、利用範囲と考えられる所は設置していきたいと考えています。なお、1台でも多く駐輪できるよう、立体化等の研究もしていきます。また、自転車利用者が気持ちよく駐輪場を利用できるよう、自転車整理員の教育にも努めていきます。	駐輪場の整備については、吉祥寺駅周辺では、地下自転車駐車場などの整備の検討を行っています。また、三鷹駅周辺では、平成22年4月開設を目前に、三鷹駅北口に建設される大型マンションの地下に1,500台収容の自転車駐車場を整備します。平成20年度には、武蔵野プレイスの建設に伴い閉鎖となる武蔵境駅南口暫定自転車駐車場の代替の一部として、既存の武蔵境駅南自転車駐車場を立体化しました。また、「西武鉄道武蔵境駅高架下自転車等駐車(収容台数約1,070台分)」が開設されました。 吉祥寺地区では、既存の駐車を立体化して、「吉祥寺駅大正通り北自転車駐車場(一時利用・約460台分)」を整備し、平成21年4月からオープンしました。
自転車	2	自転車の安全マナーを徹底する講習会をコミセン単位でして欲しい。	平成18年度から、市民等の意見も聞きながら、自転車安全利用の推進の方策を検討していきますが、その中の、利用マナーの啓発講習会等の方法についても考えていきます。	近年、自転車が増加傾向にあります。平成20年度から自転車安全利用講習会などを開始しました。平成21年度は、ほかの方法も含めて機会を増やし、自転車利用者のマナーアップと自転車事故の減少に努めます。

⑤ 行・財政

分類	番号	ご意見(H18.8.6実施)	報告書(H18.10発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
市民協働	1	市長の市政遂行姿勢には大賛成です。協働して市民が主役の市政を。	市民も市政に大いに参加できる場を広げていきますので、積極的に参加してください。	<p>市政のさまざまな分野で協働の取組みが進んでいます。さらに高いレベルでの市民協働を進めていくには、市民の自覚とともに、職員の意識改革が重要です。「市民協働ハンドブック」に基づく職員研修などを通じて市民・事業者などとの協働の取組みを推進します。</p> <p>NPOや市民活動団体に対しては、パートナーシップの意義などに関する講座を開催し、市と市民、市民同士の連携による市民パートナーシップの推進を積極的に支援します。</p> <p>また、市役所西棟7階に設置した「市民協働サロン」の機能充実のため、専門性を有する人材をコーディネーターとして配置し、活動支援・交流促進・情報受発信などの具体的な支援を行います。</p> <p>平成20年度に「分権時代の自治体運営の基本ルールを考えるシンポジウム」を開催しました。今後も基本ルールの必要性やその内容などについて、勉強会やシンポジウムを通じて、市民参加のもと検討を行います。</p>
財政	1	市の税財政の展望をお聞かせください。	景気回復は見込まれますが、三位一体改革により、平成19年度から個人住民税が減額となるなど、市税の大幅な伸びは期待できません。歳出では、今後、武蔵野プレイス(仮称)建設事業や鉄道連続立体交差事業の支出があり、さらに更新時期を迎える市有施設の改築なども計画していかななくてはなりません。今後の財政運営は厳しく推移していくと考えています。	景気の悪化、税制改正の影響等により、当面、市税の伸びは期待できません。一方、歳出では、小中学校校舎、クリーンセンター、下水道施設など老朽化した施設の更新を予定しており、今後も厳しい財政運営が予想されます。なお、現在各施設の更新計画を策定中です。
市職員	1	市職員の人数をスリム化するように。	平成17年度から平成21年度までを計画期間とした、武蔵野市行財政集中改革プランでは、平成17年4月から5年間で職員数を100名削減(削減率9%)を定めています。計画に沿って、人数をスリム化していきます。	職員数については、平成17年4月1日現在1,114名でしたが、平成20年4月1日現在1,047名と、この期間で、67名削減しました。平成21年度は、第5次職員定数適正化計画を策定する年にあたります。正規職員の担う役割を明確にし、アウトソーシングや嘱託職員で対応できる業務を整理するとともに、市役所全体の効率的な業務運営を進め、職員定数の適正化を行っていきます。

分類	番号	ご意見(H18.8.6実施)	報告書(H18.10発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
市職員	2	<p>第四期長期計画調整計画の中に、「職員の意識改革」をぜひ入れてほしい。市役所職員の給与の7割は、市民からの血税でまかなわれている。市民へのサービスを遂行するために許認可を含むさまざまな権限を与えられている。それを忘れて権限を振りかざすようでは、市民は、役所から離れていくだけである。</p>	<p>平成17年度から平成21年度までを計画期間とした、武蔵野市行財政集中改革プランの中にも「職員研修体制・能力開発支援の充実」という目標が定められています。</p> <p>また、平成20年度を初年度とする「第四期長期計画・調整計画」の策定作業の中でも、当然取り上げられるべきテーマであると考えています。</p>	<p>「第四期長期計画調整計画」の行・財政分野において、「職員の資質向上の推進」を掲げています。職員の資質向上は、市民協働や行政改革を進めるうえでも重要な事項と認識しており、今後も継続的に進めていきます。</p>
市議会議員	1	<p>議員の数が人口の割に多い。</p>	<p>本市の市議会議員の定数は30人です。議員定数については、減らしてほしいという意見がある一方で、減らしてほしくないという意見もあり、慎重に議論を重ねる必要があります。</p> <p>現在、市議会では、議会改革の検討を行っており、議員定数については検討項目に挙げられています。また、議員定数についての陳情も出されており、議会運営委員会で審査中ですので、その議論の行方を見守っていきたいと思います。</p>	<p>議員定数については、平成18年12月の市議会で、30名から26名への削減が決定され、平成19年4月実施の市議選より適用されました。</p>

第23回 市民と市長の タウンミーティング

開催日：2月13日(金)

開催時間：午後6時30分～9時

どなたでも参加できます。
私たちのまちのこと
一緒に話し合いませんか！！

<会場>

武蔵野中央公園北ホール

住所:八幡町2-5-3

TEL:0422-56-0055

会場案内図



<その他>

- ◆申込 当日、直接会場へお越しください。
- ◆出席者 市民の皆様、市長、市関連部長
- ◆備考 お車でのご来場はご遠慮ください。

【主催】
八幡町コミュニティ協議会・武蔵野市

一問い合わせ先—
武蔵野市役所 市民協働推進課 広聴係
TEL0422-60-1829 FAX0422-51-2000

第23回 市民と市長のタウンミーティング

～だれにでもやさしい安全・安心なまちづくり～

都立武蔵野中央公園での動物との付き合い方

交通法規改正による自転車走行ゾーン等の設置・表示

八幡町コミセン



中央公園

～八幡町コミセンの新築移転について～

具体的な進展と方向性について

既存のコミセンの活用方法

当日参加できない方で、上記のことについて、市長にご意見・ご要望のある方は、下記枠内にお書きになり、市役所（2階）市民協働推進課、または各市政センターにお届けいただくか、FAXで市民協働推進課（0422-51-2000）にお送りください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

第23回

【地域別】

市民と市長のタウンミーティング

報告書

発行 平成21年4月

武蔵野市 企画政策室 市民協働推進課

武蔵野市緑町2丁目2番28号

電話(0422)60-1829 (直通)